

第3章 一般高齢者調査の結果

「n」は各設問に該当する回答者の総数（人）であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

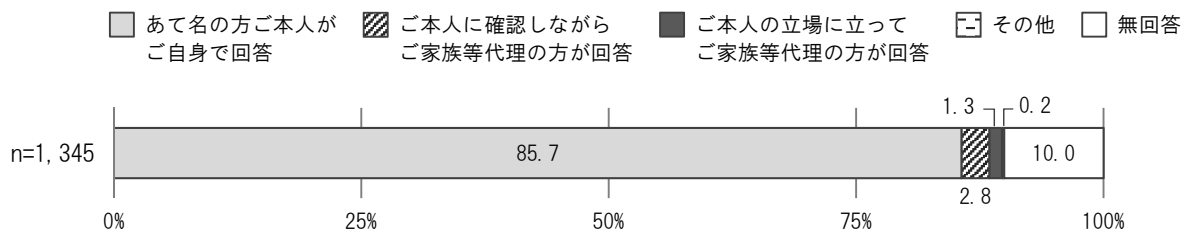
1 回答者の属性

問1 この調査票はどなたが回答されますか。（1つに○）

▶回答者は、「あて名の方ご本人がご自身で回答」が85.7%

・調査票の回答者は、「あて名の方ご本人がご自身で回答」が85.7%、「ご本人に確認しながらご家族等代理の方が回答」が2.8%となっている。[図表 3-1]

図表 3-1 調査票の回答者

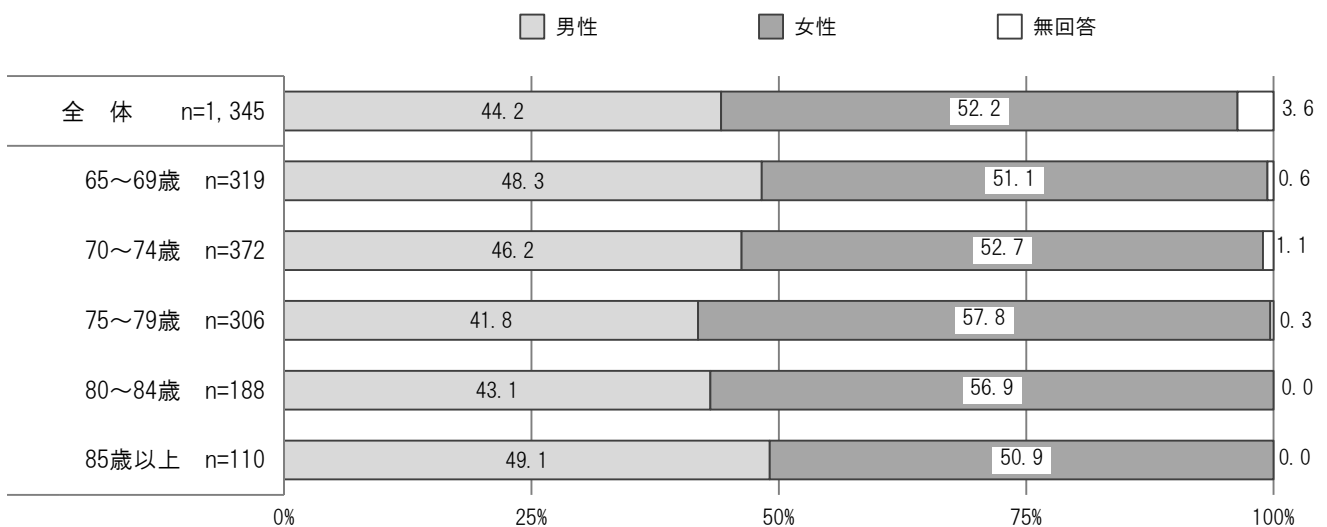


問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、令和元年9月1日現在の満年齢をお答えください。

▶性別は、男性が44.2%、女性が52.2%

・年齢別にみると、男性は『85歳以上』が49.1%、女性は『75～79歳』が57.8%で最も高くなっている。[図表 3-2]

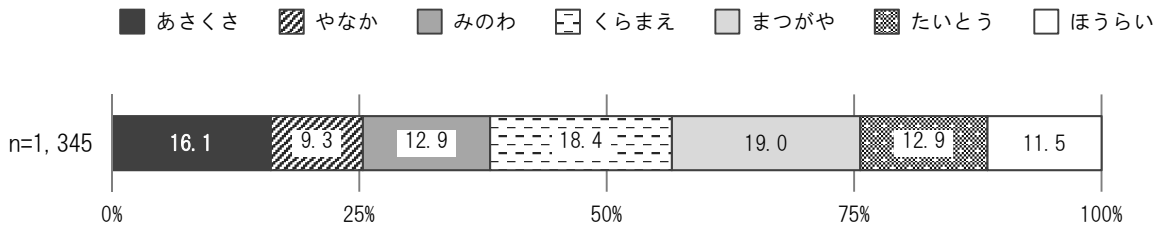
図表 3-2 性別／年齢別



問3 お住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。丁目がない場合は、町名だけ記入してください。

▶住まいの地域包括支援センター区域は、「まつがや」が19.0%、「くらまえ」が18.4%

図表 3-3 地域包括支援センター区域

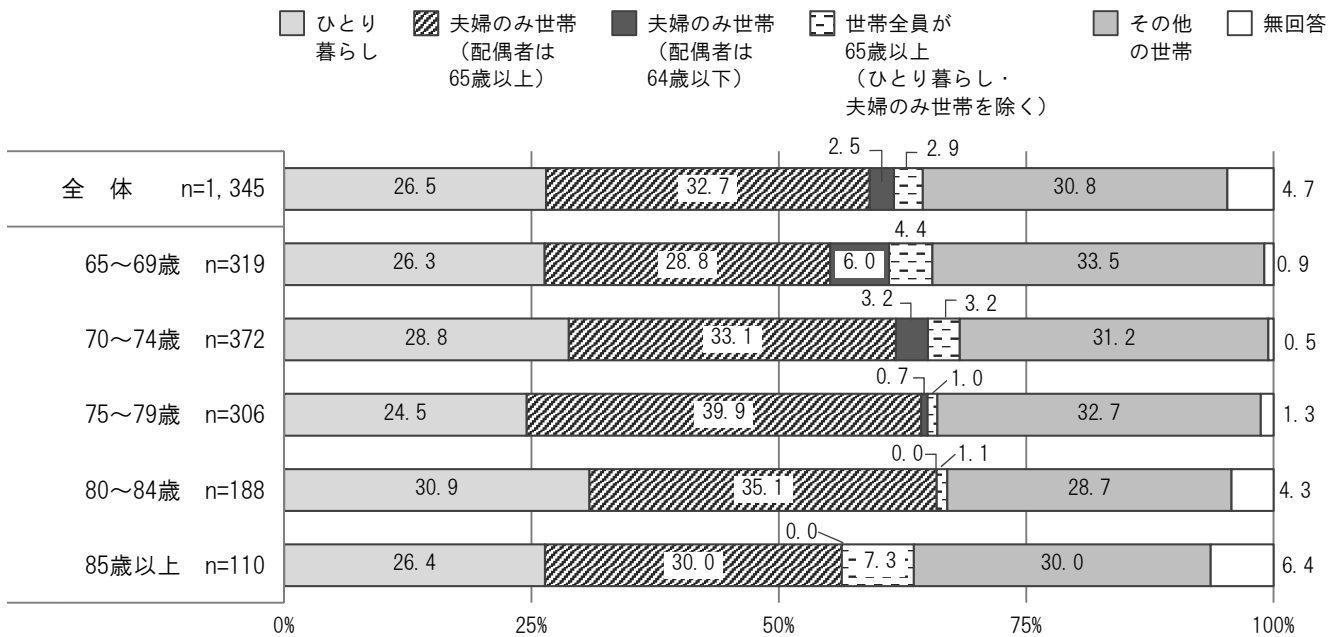


問4 あなたのご家族の構成は、次のうち、どれにあてはまりますか。（1つに○）

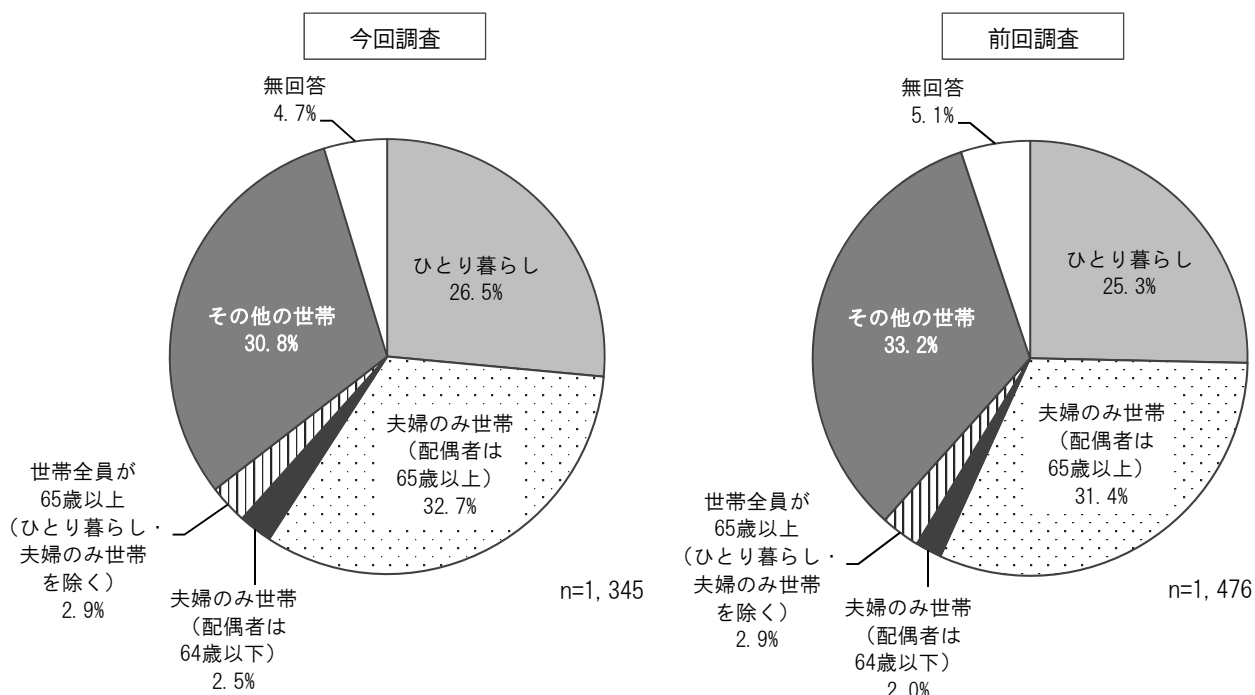
▶家族構成は、「夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）」が32.7%

- ・年齢別にみると、「ひとり暮らし」は『80～84歳』が30.9%で最も高く、「夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）」は『75～79歳』が39.9%で最も高くなっている。[図表3-4]
- ・経年比較では、「夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）」は32.7%で、前回調査より1.3ポイント高くなっている。

図表 3-4 家族構成／年齢別



図表 3-5 家族構成／経年比較

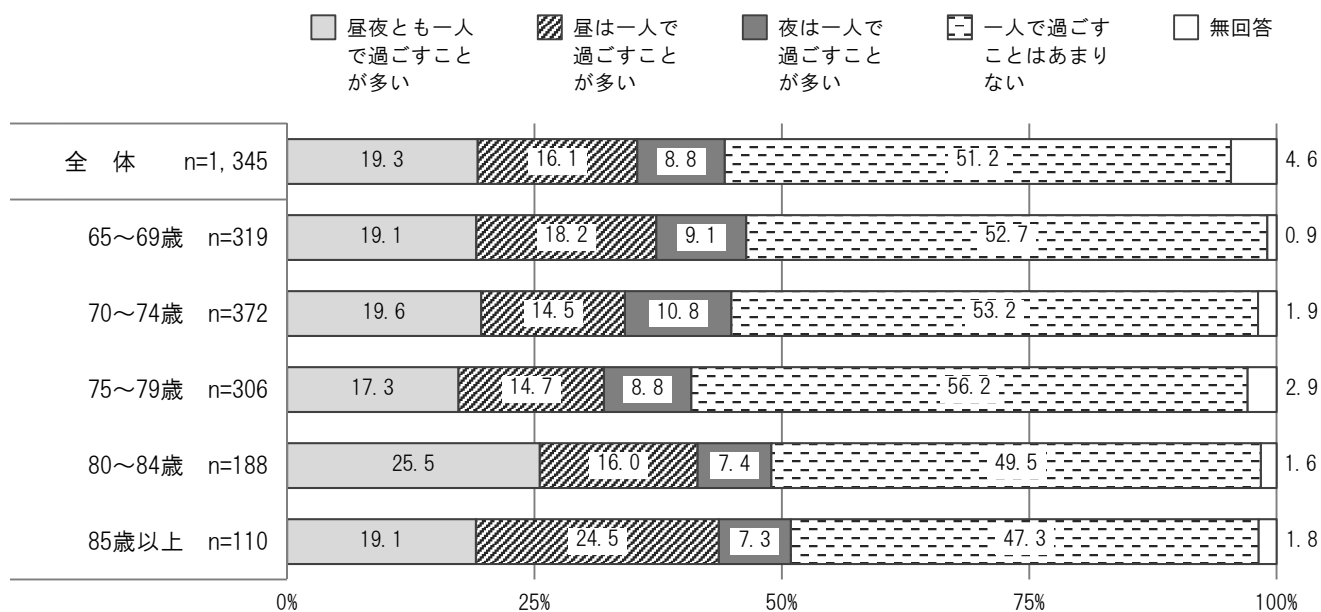


問5 1日の中で、一人になることがありますか。(1つに○)

▶ 1日の中で「一人で過ごすことはあまりない」が 51.2%、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」が 19.3%

・年齢別にみると、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」は『80～84歳』が 25.5%で最も高く、次いで『70～74歳』が 19.6%となっている。[図表 3-6]

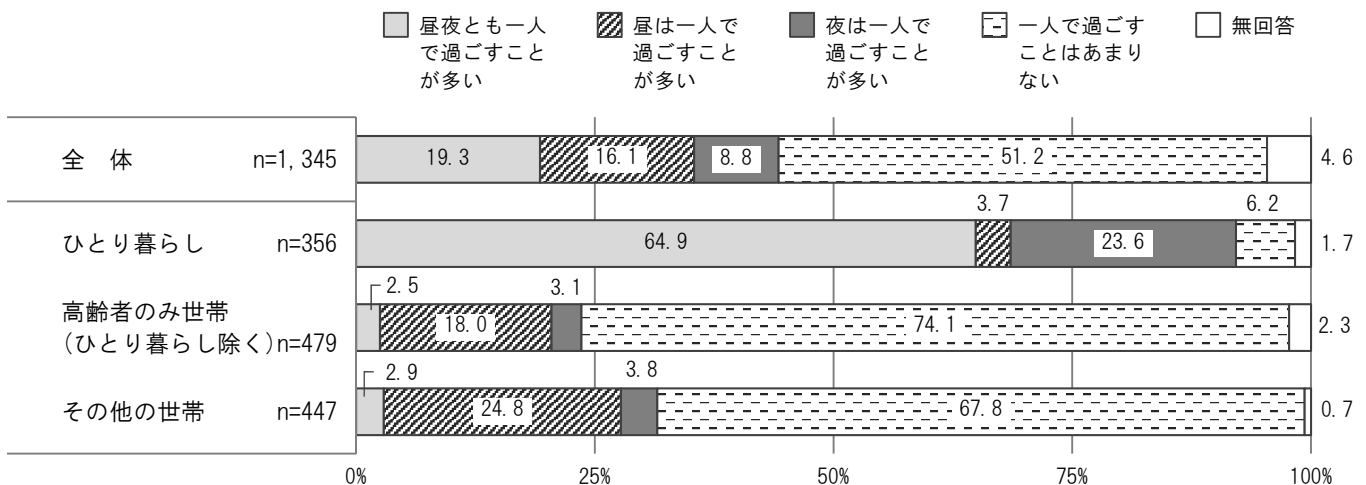
図表 3-6 日中独居の状況／年齢別



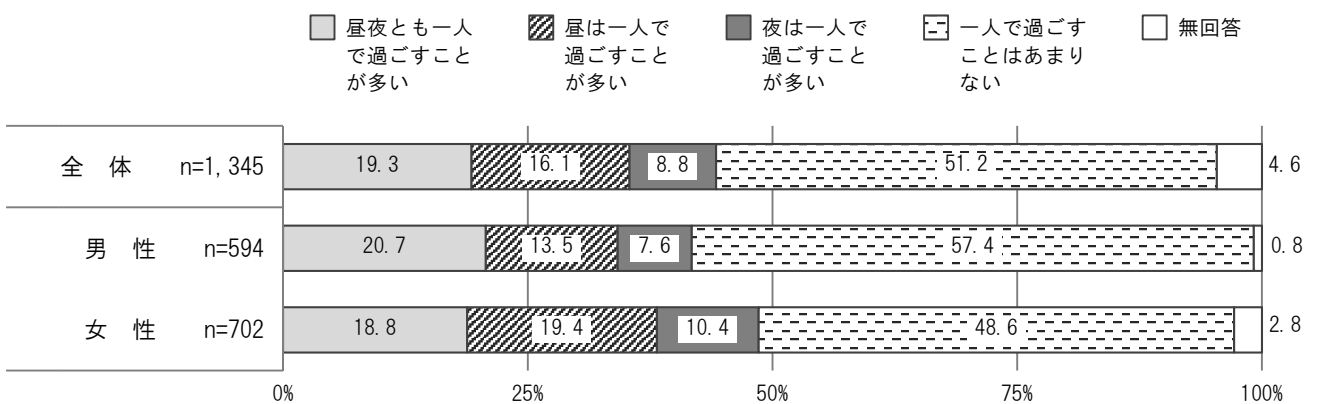
第3章 一般高齢者調査の結果

- ・家族構成別にみると、『ひとり暮らし』は「昼夜とも一人で過ごすことが多い」が 64.9%となっている。[図表 3-7]
- ・性別でみると、「一人で過ごすことはあまりない」は男性が 57.4%、女性が 48.6%となっている。[図表 3-8]
- ・経年比較では、「一人で過ごすことはあまりない」は 51.2%で、前回調査より 1.6 ポイント低くなっている。[図表 3-9]

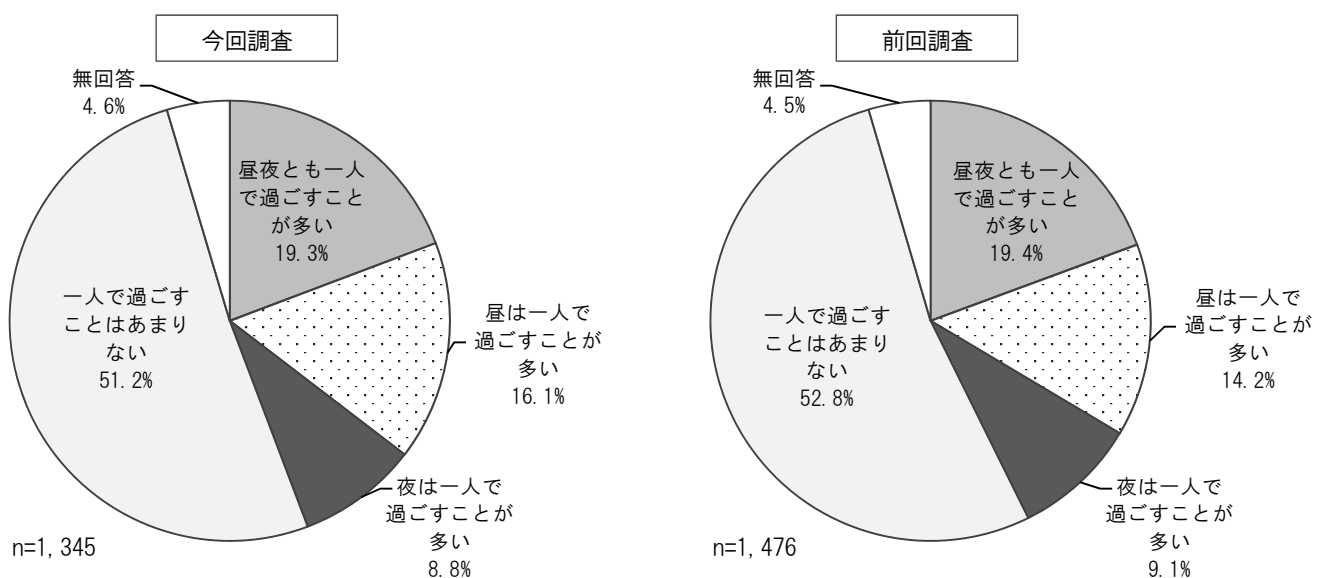
図表 3-7 日中独居の状況／家族構成別



図表 3-8 日中独居の状況／性別



図表 3-9 日中独居の状況／経年比較

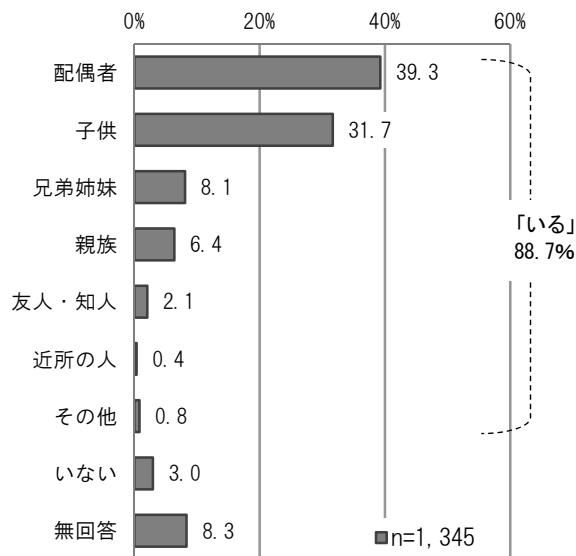


問6 緊急時に連絡をとるのはどなたですか。(1つに○)

▶ 「緊急時に連絡をとる相手」がいるは88.7%

- ・緊急時に連絡をとる相手は、「配偶者」が39.3%で最も高く、次いで「子供」が31.7%となっている。[図表3-10]
- ・家族構成別にみると、『ひとり暮らし』の緊急時に連絡をとる相手は、「子供」が38.2%、「兄弟姉妹」が21.9%となっている。また、「いない」が10.1%となっている。[図表3-11]

図表3-10 緊急時に連絡をとる相手



※「いる」=100%－「いない」－「無回答」

図表3-11 緊急時に連絡をとる相手／家族構成別

単位：%

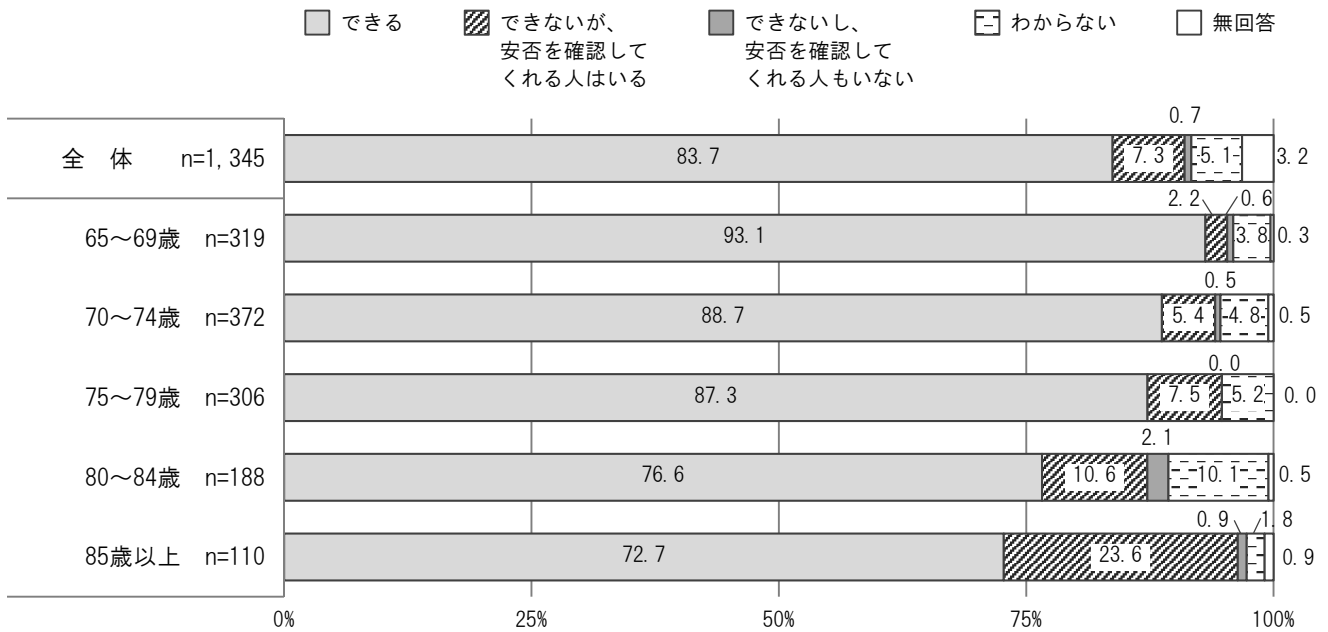
項目	回答者数 (人)	配偶者	子供	兄弟姉妹	親族	友人・知人	近所の人	その他	いない	無回答	
全体	1,345	39.3	31.7	8.1	6.4	2.1	0.4	0.8	3.0	8.3	
家族構成	ひとり暮らし	356	2.8	38.2	21.9	12.4	7.0	1.4	2.0	10.1	4.2
	高齢者のみ世帯(ひとり暮らし除く)	479	63.5	19.0	4.2	4.4	0.4	-	-	0.6	7.9
	その他の世帯	447	47.2	40.9	2.2	4.3	0.2	-	0.9	0.2	4.0

問7 災害時（台風や地震等）や火災などの緊急時に、一人で避難することはできますか。（1つに○）

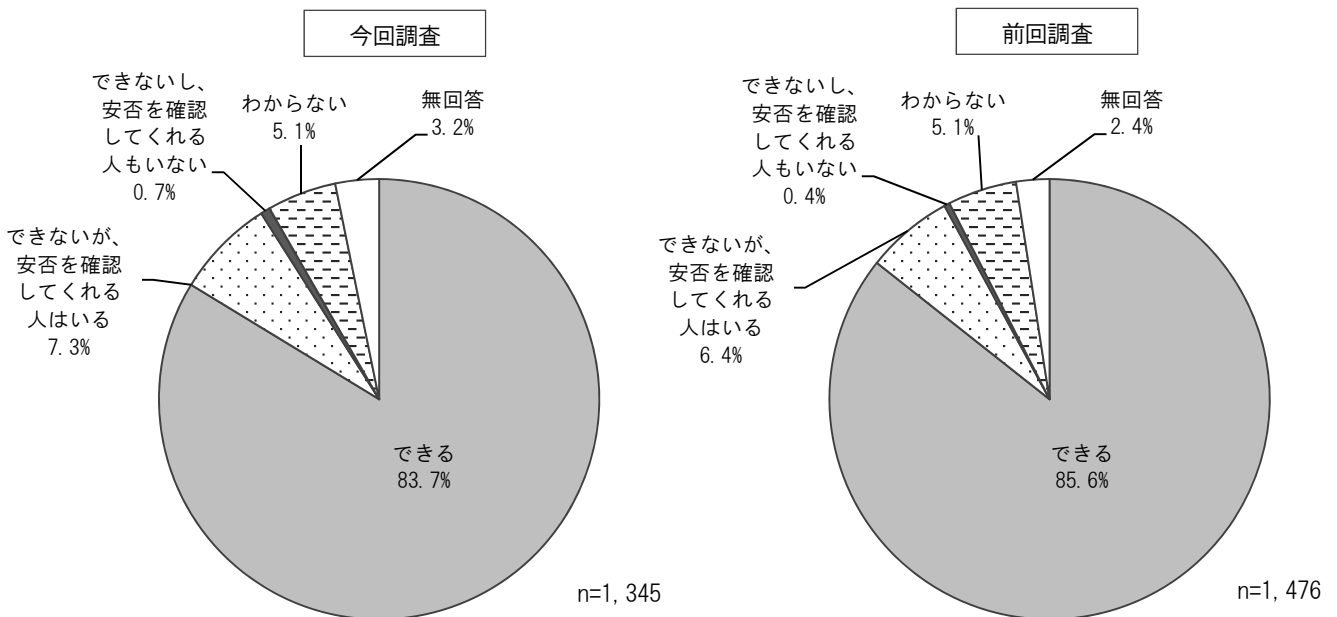
▶緊急時に一人で避難することが「できる」が83.7%、「できないし、安否を確認してくれる人もいない」は0.7%

- ・年齢別にみると、一人で避難「できる」は、高齢になるにつれて低くなっている。
[図表 3-12]
- ・経年比較では、「できる」は83.7%で、前回調査より1.9ポイント低くなっている。
[図表 3-13]

図表 3-12 災害時に一人で避難すること／年齢別



図表 3-13 災害時に一人で避難すること／経年比較



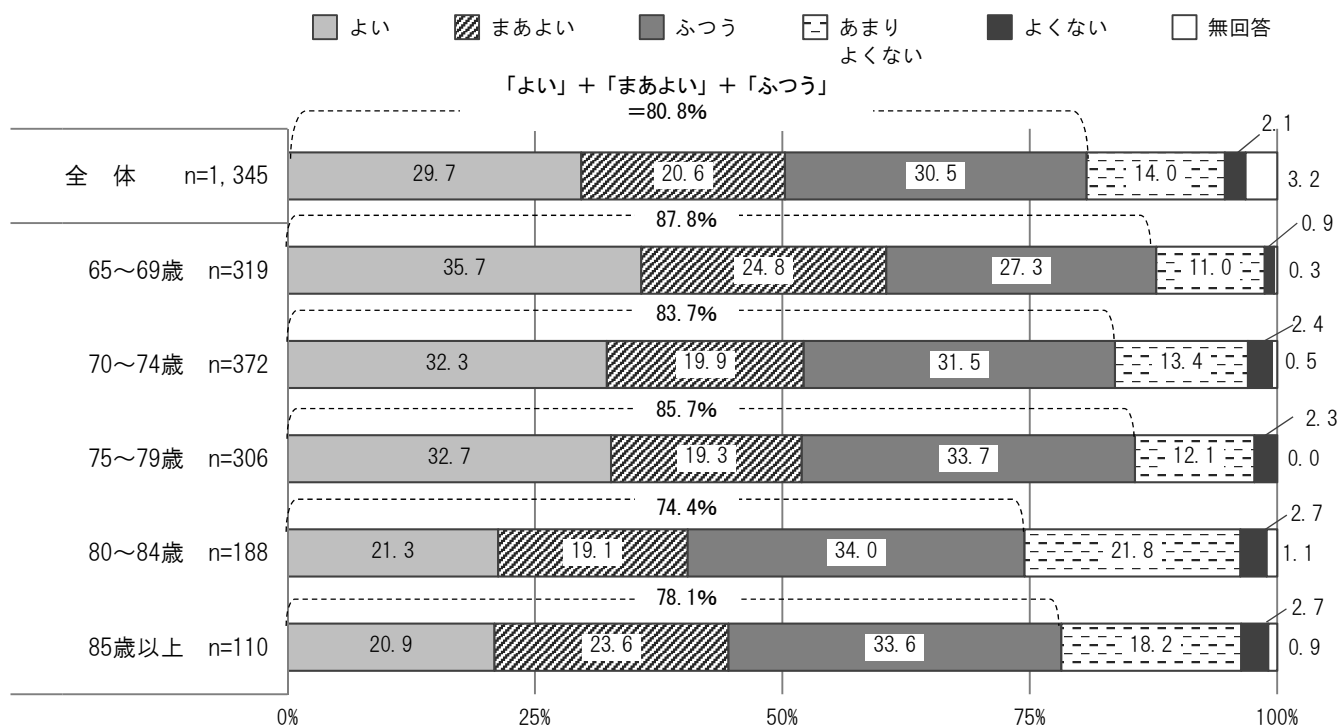
2 健康について

問8 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。（1つに〇）

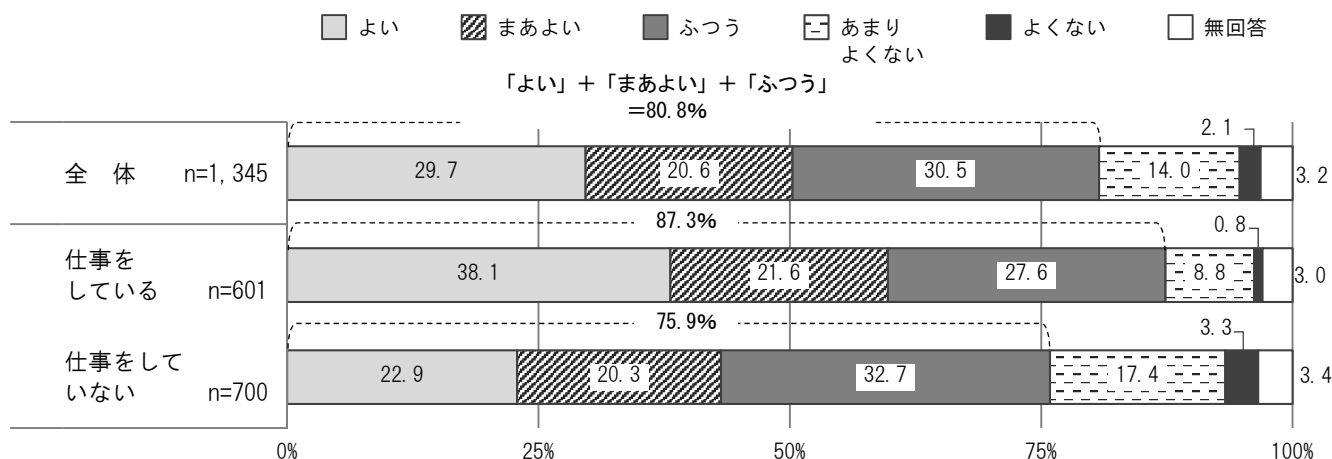
▶健康状態は、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると80.8%

- ・健康状態は、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると、『65～69歳』で87.8%、『75～79歳』で85.7%となっている。[図表3-14]
- ・就労状況別にみると、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると、『仕事をしている』人が87.3%、『仕事をしていない』人が75.9%となっている。[図表3-15]

図表3-14 健康状態／年齢別



図表3-15 健康状態／就労状況別



第3章 一般高齢者調査の結果

- ・この1年間に行った地域活動等別にみると、健康状態が「よい」方は、『ボランティアやNPO活動』や『健康づくり・スポーツ活動』などに参加している人が多く、「ふつう」の方は、『参加していない』が多くなっている。[図表 3-16]

図表 3-16 健康状態／1年間に行った地域活動等別（複数回答）

単位：％

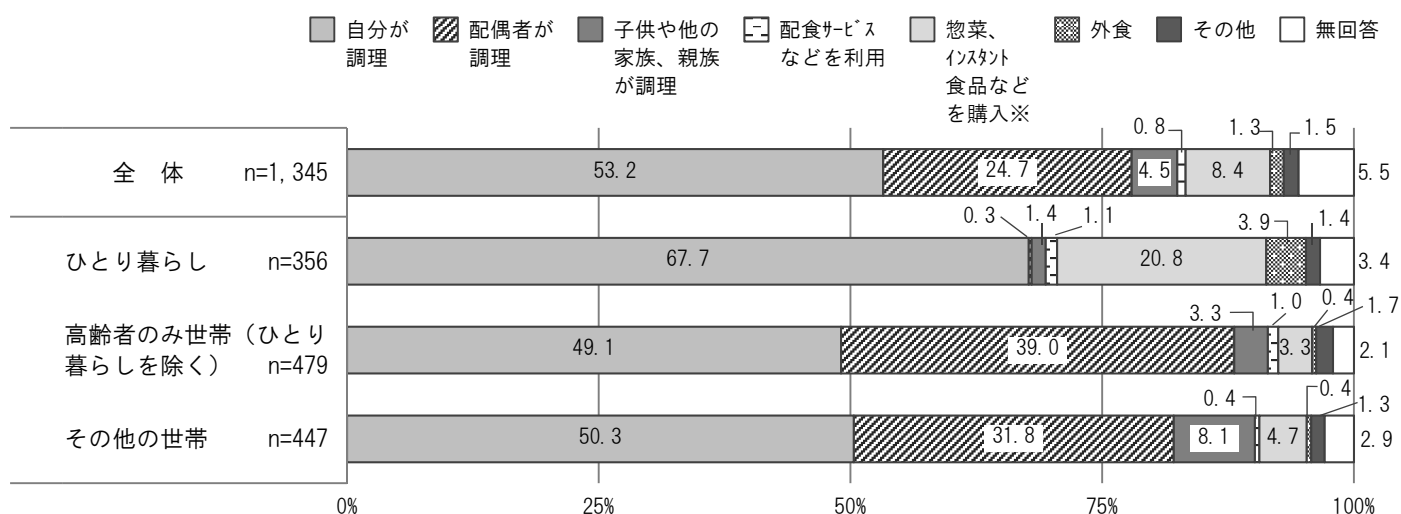
項目		回答者数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体		1,345	29.7	20.6	30.5	14.0	2.1	3.2
1年間に行った地域活動等	趣味や教養活動	308	41.6	22.7	23.4	10.7	0.3	1.3
	健康づくり・スポーツ活動	290	42.8	21.4	25.5	8.6	0.3	1.4
	町会・自治会、シニア（老人）クラブなどの活動	250	34.4	26.0	28.8	8.4	0.4	2.0
	ボランティアやNPO活動	43	46.5	16.3	25.6	9.3	0.0	2.3
	その他	49	40.8	14.3	22.4	14.3	4.1	4.1
	参加していない	617	22.5	17.8	34.2	18.0	3.9	3.6

問9 あなたの、ふだんの食事の用意などは主にどのようにしていますか。（1つに○）

▶ふだんの食事の用意は、「自分が調理」が53.2%、「配偶者が調理」が24.7%、「惣菜、インスタント食品などを購入」が8.4%

- ・家族構成別にみると、『ひとり暮らし』は「自分が調理」が67.7%、「惣菜、インスタント食品などを購入」が20.8%となっている。[図表 3-17]

図表 3-17 ふだんの食事の用意／家族構成別



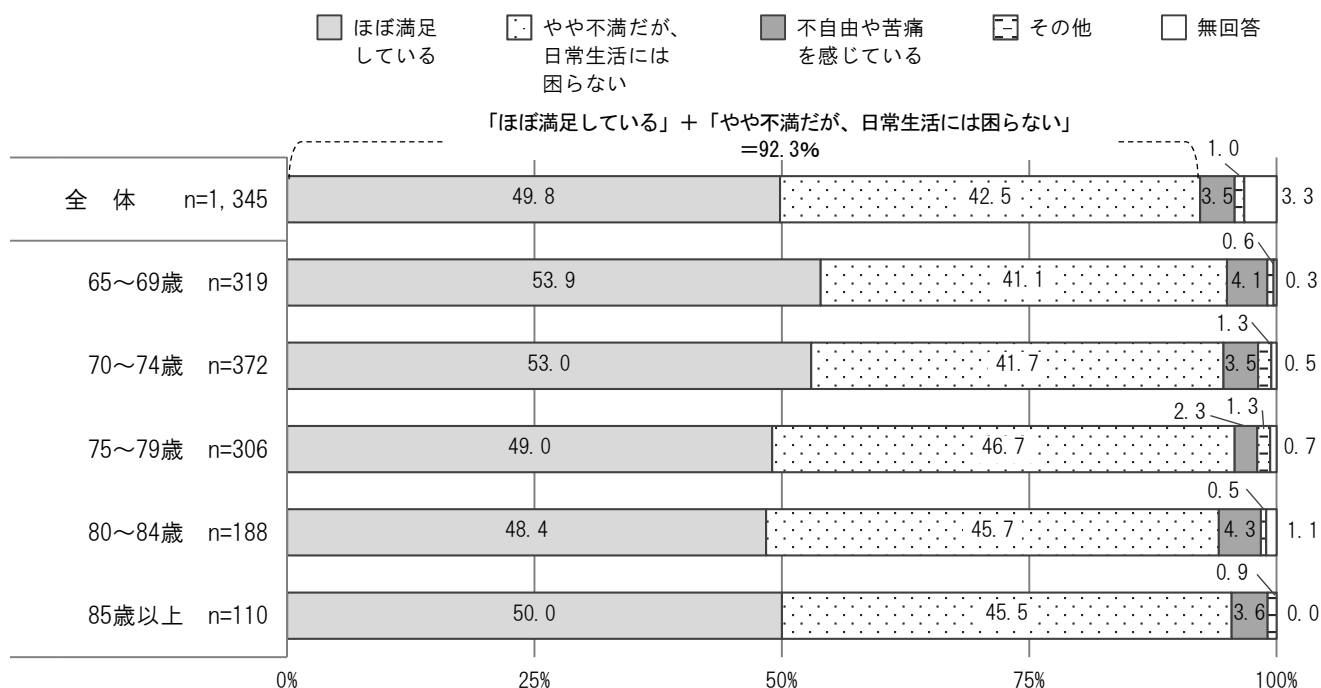
※「惣菜、インスタント食品などを購入」＝「スーパー・コンビニなどで惣菜、インスタント食品などを購入」

問10 口の中や歯の状態（入れ歯を入れている状態を含みます）を、どのように感じていますか。（1つに○）

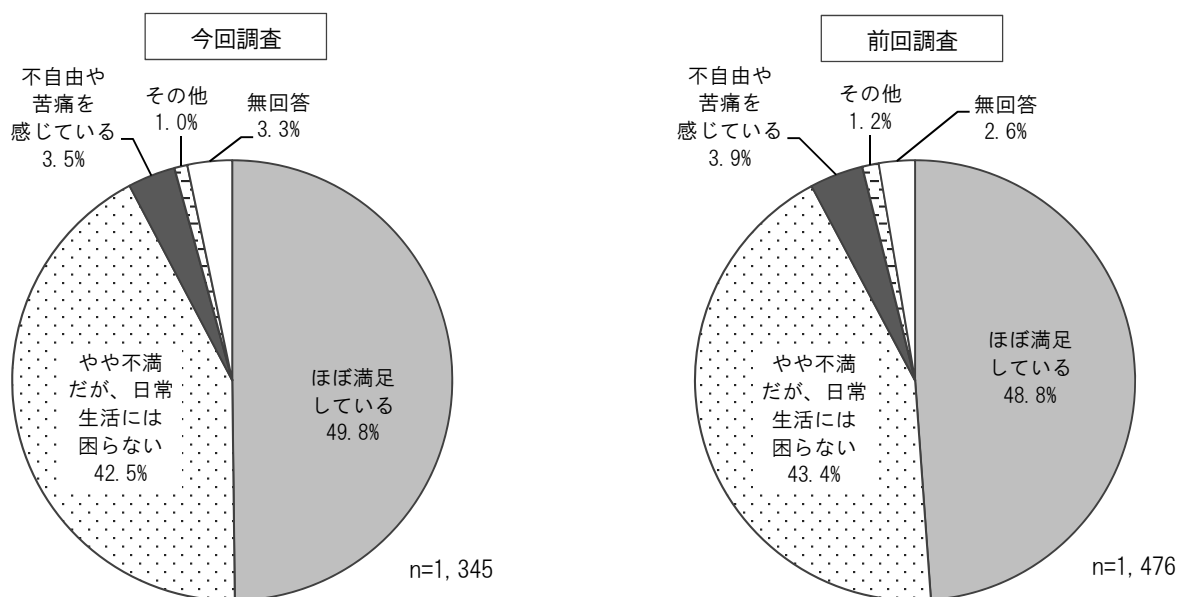
▶口の中や歯の状態は、「ほぼ満足している」「やや不満だが、日常生活には困らない」を合わせると92.3%

- ・年齢別にみると、「ほぼ満足している」は『65～69歳』が53.9%で最も高く、次いで『70～74歳』が53.0%となっている。[図表3-18]
- ・経年比較では、「ほぼ満足している」は49.8%で、前回調査より1.0ポイント高くなっている。[図表3-19]

図表3-18 口の中や歯の状態／年齢別



図表3-19 口の中や歯の状態／経年比較

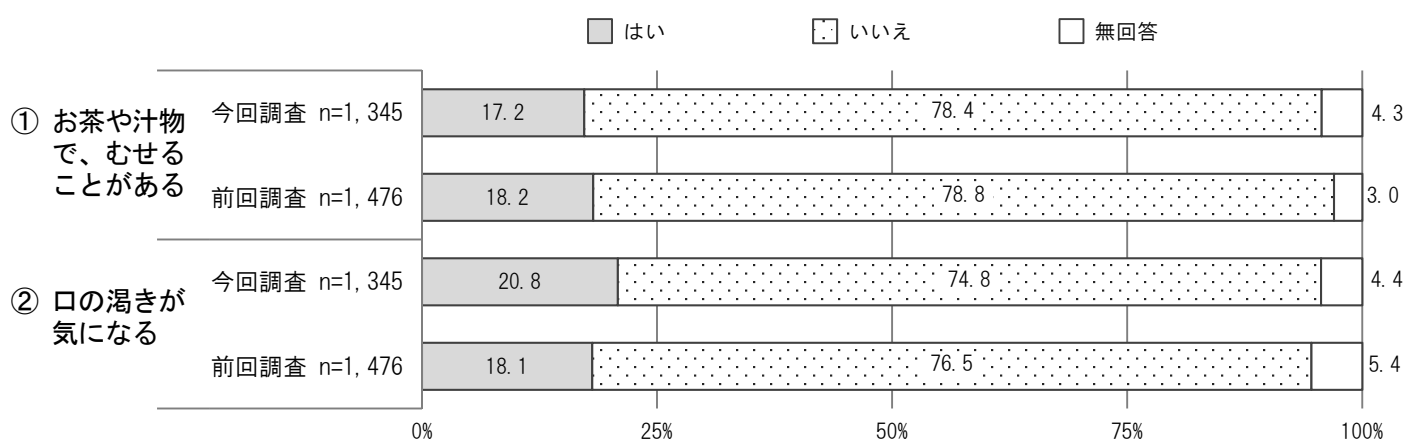


問11 食事などのときに、次のことで気になることはありますか。
 (それぞれ1つに○)
 ① お茶や汁物で、むせることがありますか
 ② 口の渇きが気になりますか

- ▶① お茶や汁物で、むせることがあるかでは、「いいえ」が78.4%
- ▶② 口の渇きが気になるかでは、「いいえ」が74.8%

・経年比較では、① お茶や汁物で、むせることがあるかでは「いいえ」は78.4%で、前回調査より0.4ポイント低く、② 口の渇きが気になるかでは「いいえ」は74.8%で、前回調査より1.7ポイント低くなっている。[図表3-20]

図表3-20 食事などのときに気になること／経年比較



問 12 ふだんから治療や指導を受けたり、相談のできるかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師（薬局）はありますか。（それぞれ主なもの1つに○）
 ① かかりつけ医 ② かかりつけ歯科医 ③ かかりつけ薬剤師（薬局）

- ▶① かかりつけ医は、「区内にある」が66.1%、「区外にある」が17.8%
- ▶② かかりつけ歯科医は、「区内にある」が64.8%、「区外にある」が15.8%
- ▶③ かかりつけ薬剤師（薬局）は、「区内にある」が63.4%、「区外にある」が10.0%

・年齢別にみると、① かかりつけ医が「区内にある」は『85歳以上』が80.9%、② かかりつけ歯科医が「区内にある」は『75～79歳』が71.9%、③ かかりつけ薬剤師（薬局）が「区内にある」は『75～79歳』が71.9%で高くなっている。[図表3-21]

図表3-21 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師（薬局）の有無／年齢別 単位：%

項目	回答者数（人）	① かかりつけ医の有無				② かかりつけ歯科医の有無				③ かかりつけ薬剤師（薬局）の有無				
		区内にある	区外にある	どちらもない	無回答	区内にある	区外にある	どちらもない	無回答	区内にある	区外にある	どちらもない	無回答	
全 体	1,345	66.1	17.8	10.3	5.9	64.8	15.8	11.5	8.0	63.4	10.0	17.0	9.6	
年 齢	65～69歳	319	61.1	21.0	16.0	1.9	64.9	17.2	15.7	2.2	58.6	13.2	25.4	2.8
	70～74歳	372	63.7	21.5	13.2	1.6	63.7	18.3	15.1	3.0	64.2	11.3	21.0	3.5
	75～79歳	306	75.5	15.4	6.2	2.9	71.9	14.4	9.5	4.2	71.9	8.5	13.4	6.2
	80～84歳	188	68.1	16.0	8.0	8.0	62.8	16.0	9.0	12.2	67.0	8.5	8.5	16.0
	85歳以上	110	80.9	12.7	2.7	3.6	71.8	12.7	2.7	12.7	68.2	7.3	9.1	15.5

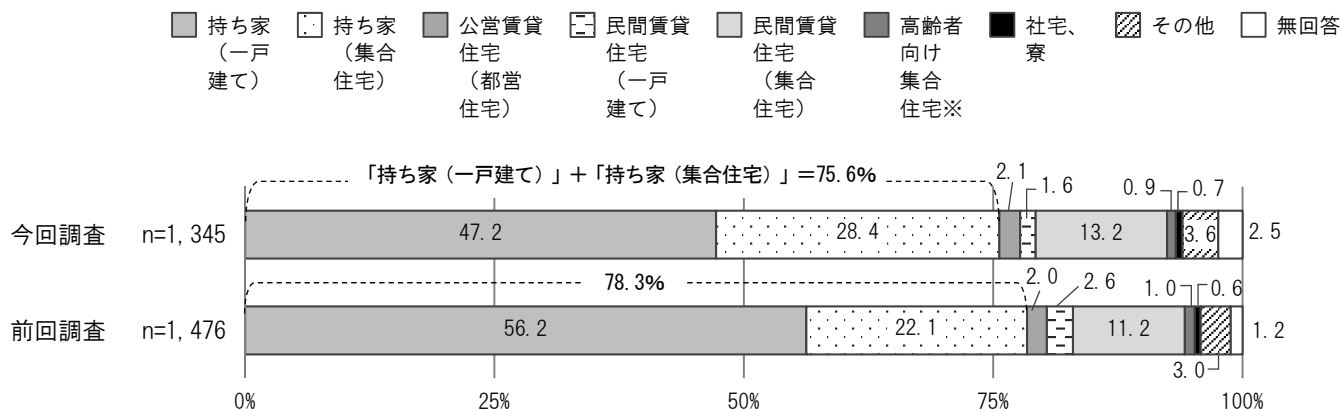
3 住まいについて

問13 お住まいの形態は、次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

▶住まいの形態は、「持ち家（一戸建て）」が47.2%、「持ち家（集合住宅）」が28.4%

・経年比較では、「持ち家（一戸建て）」「持ち家（集合住宅）」を合わせると75.6%で、前回調査より2.7ポイント低くなっている。一方、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は13.2%で、前回調査より2.0ポイント高くなっている。[図表3-22]

図表3-22 住まいの形態／経年比較

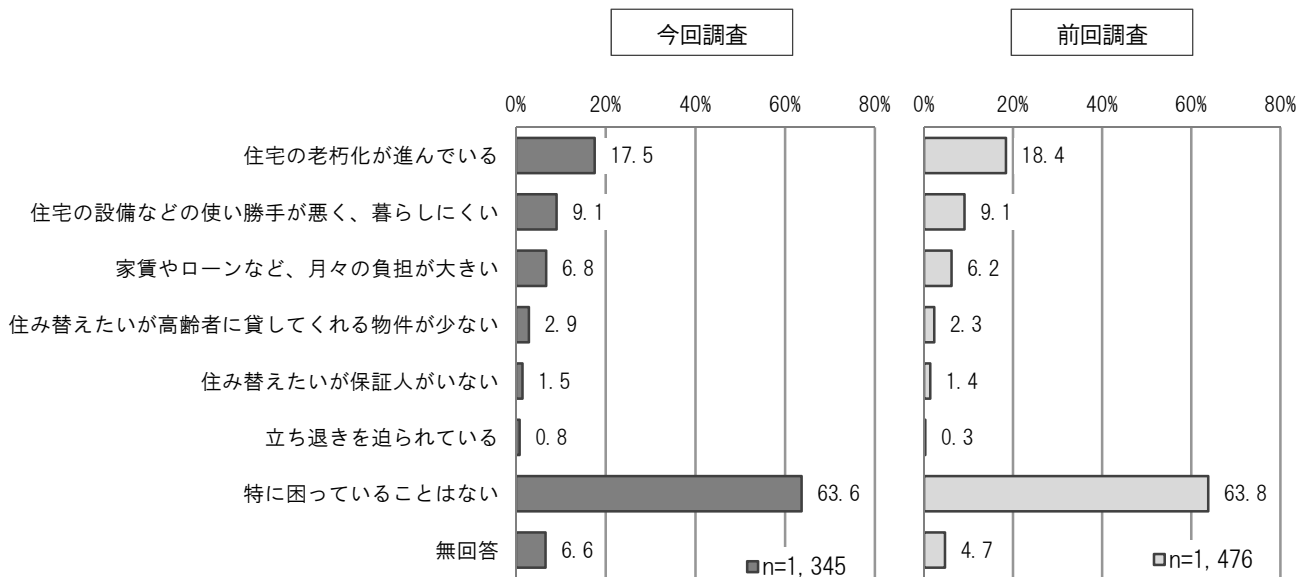


問 14 現在、お住まいの住宅でお困りのことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

▶現在の住宅で「特に困っていることはない」が 63.6%、「住宅の老朽化が進んでいる」が 17.5%

・経年比較では、「住宅の老朽化が進んでいる」は 17.5%で、前回調査より 0.9 ポイント低くなっており、また、「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」は 9.1%で、前回調査と同じとなっている。 [図表 3-23]

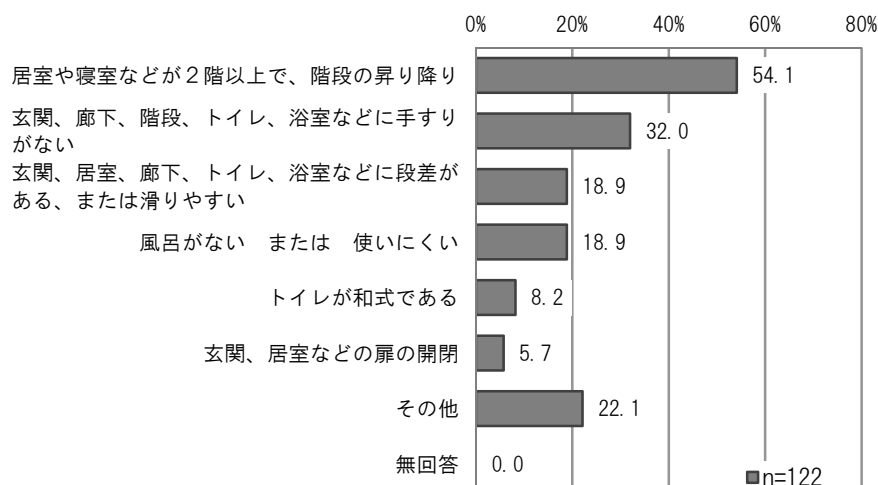
図表 3-23 住宅で困っていること（複数回答）／経年比較



問 14-1 「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」に○をした方におうかがいします。具体的にどのような設備などに困っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

▶暮らしにくいと回答した 122 人が暮らしにくいと感じる住宅の設備は、「居室や寝室などが 2 階以上で、階段の昇り降り」が 54.1%

図表 3-24 暮らしにくいと感じる住宅の設備（複数回答）

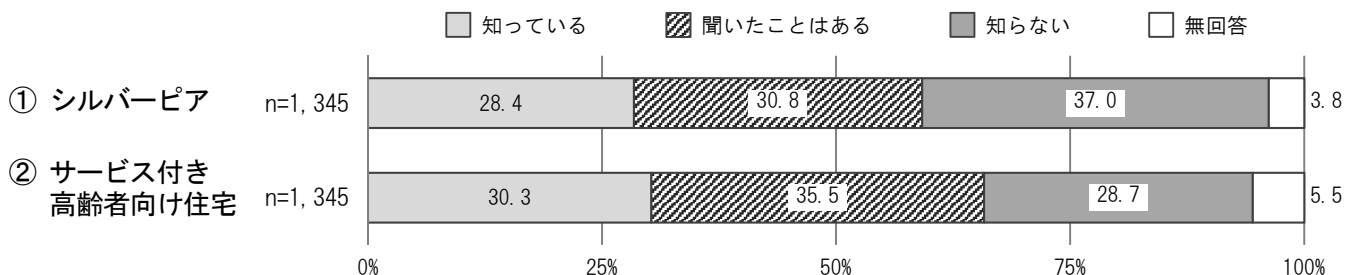


問 15 高齢者向けの住宅として、「シルバーピア」と「サービス付き高齢者向け住宅」がありますが、あなたは知っていますか。（それぞれ1つに○）

① シルバーピア ② サービス付き高齢者向け住宅

- ▶① シルバーピアの認知度は、「知っている」が28.4%、「聞いたことはある」は30.8%
- ▶② サービス付き高齢者向け住宅の認知度は、「知っている」が30.3%、「聞いたことはある」は35.5%

図表 3-25 シルバーピア、サービス付き高齢者向け住宅の認知度



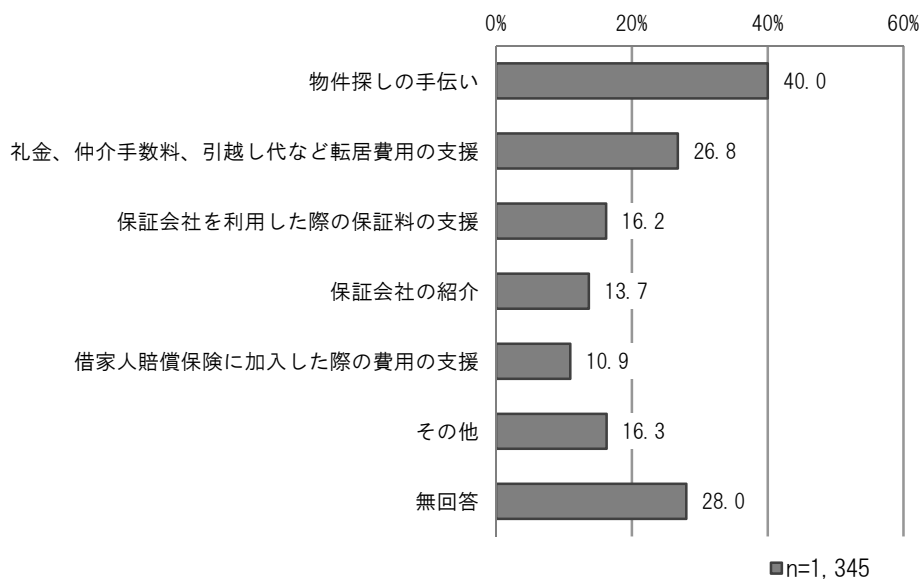
① シルバーピア…高齢者向けの設備を備え、緊急時の対応などを行う管理人を配置した住宅

② サービス付き高齢者向け住宅…高齢者世帯や要介護者等の増加に対応し、高齢者が安心して生活することができるよう、バリアフリー構造などを有し、介護・医療と連携して、高齢者を支援するサービスを提供する住宅

問 16 今後、住み替えが必要となった場合、どのような支援があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

▶今後、住み替えが必要となった場合に望む支援は、「物件探しの手伝い」が40.0%

図表 3-26 住み替えが必要な場合に望む支援（複数回答）



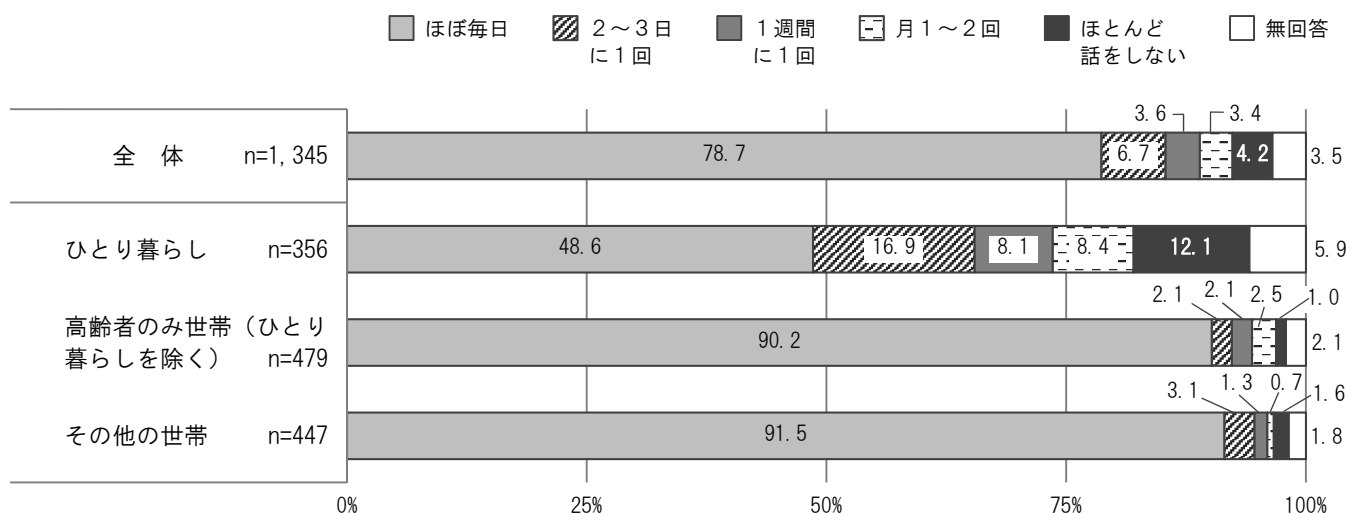
4 コミュニケーションについて

問 17 あなたは、ふだん、どのくらいご家族・ご親族や知人等と会話をしていますか（電話やメールを含む）。（1つに○）

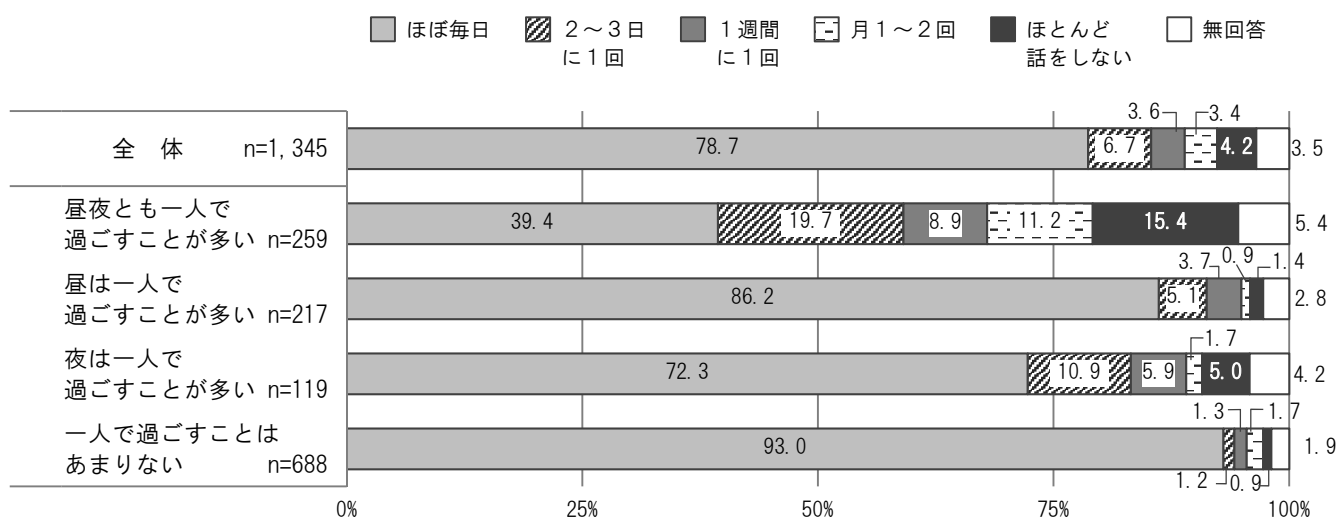
▶家族・親族・知人等との会話は「ほぼ毎日」が全体では 78.7%であるが、『ひとり暮らし』では 48.6%

- ・家族構成別にみると、家族・親族・知人等との会話は、『ひとり暮らし』では「2～3日に1回」が 16.9%、「ほとんど話をしない」が 12.1%となっている。[図表 3-27]
- ・日中独居の状況別にみると、『昼夜とも一人で過ごすことが多い』では「ほとんど話をしない」が 15.4%となっている。[図表 3-28]

図表 3-27 家族・親族・知人等との会話／家族構成別



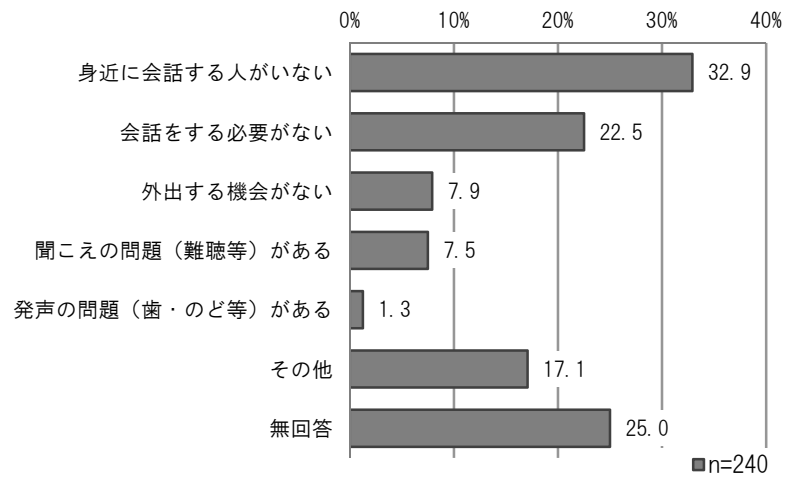
図表 3-28 家族・親族・知人等との会話／日中独居の状況別



問 17-1 「2～3日に1回」から「ほとんど話をしない」に○をした方におうかがいします。会話をする機会が少ない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

▶ 会話をする機会が少ない理由は、「身近に会話する人がいない」が 32.9%

図表 3-29 会話をする機会が少ない理由（複数回答）

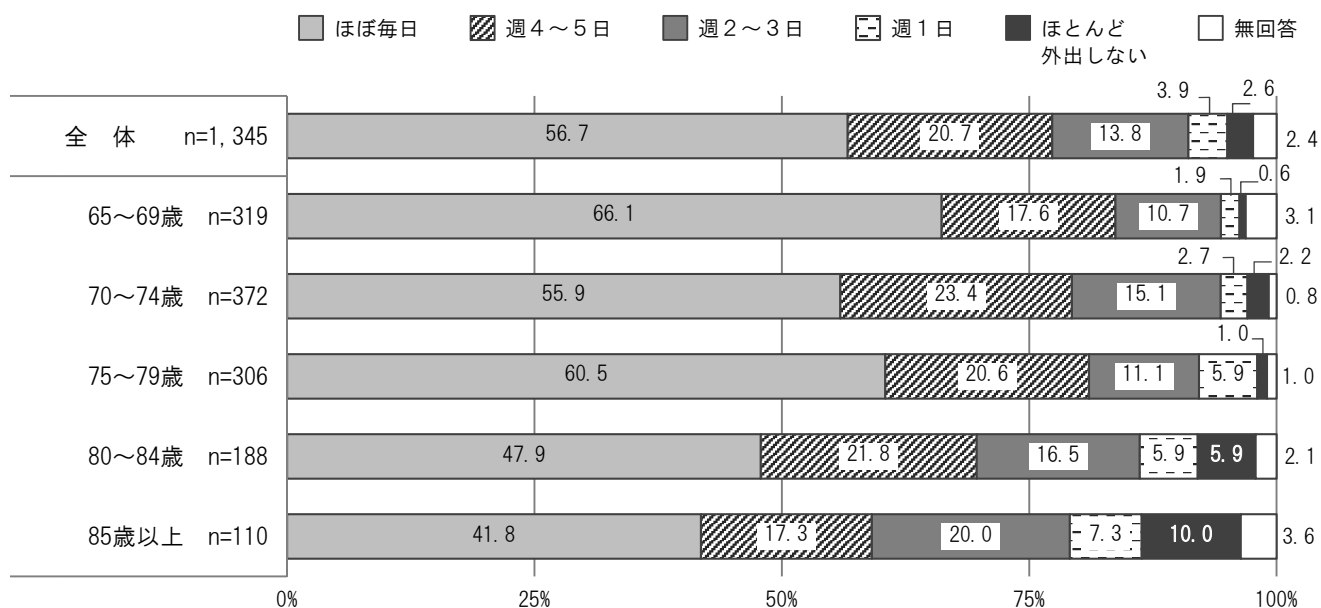


問 18 1週間でどのくらい外出しますか。(1つに〇)

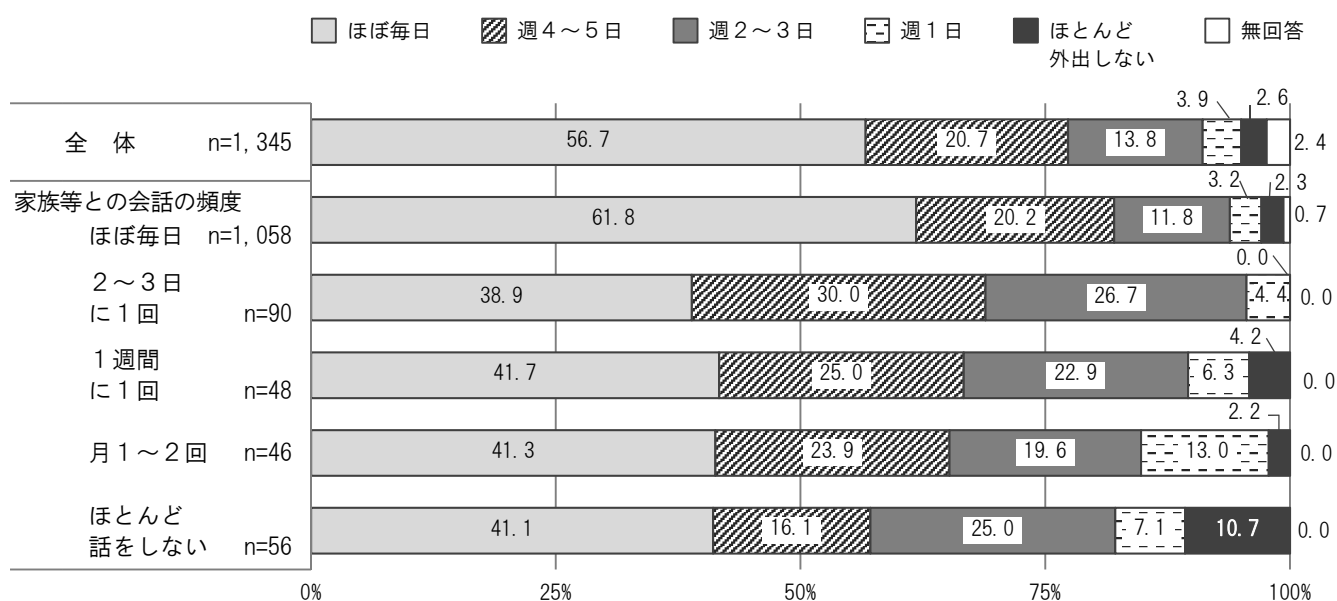
▶ 外出の頻度は、「ほぼ毎日」が 56.7%

- ・年齢別にみると、1週間の外出頻度が「ほぼ毎日」は、『65～69歳』が 66.1%、『75～79歳』が 60.5%となっている。[図表 3-30]
- ・家族等との会話の頻度別にみると、家族等との会話の頻度が『ほぼ毎日』の人は、1週間の外出頻度の「ほぼ毎日」が 61.8%と高くなっている。[図表 3-31]

図表 3-30 1週間の外出頻度／年齢別



図表 3-31 1週間の外出頻度／家族等との会話の頻度別



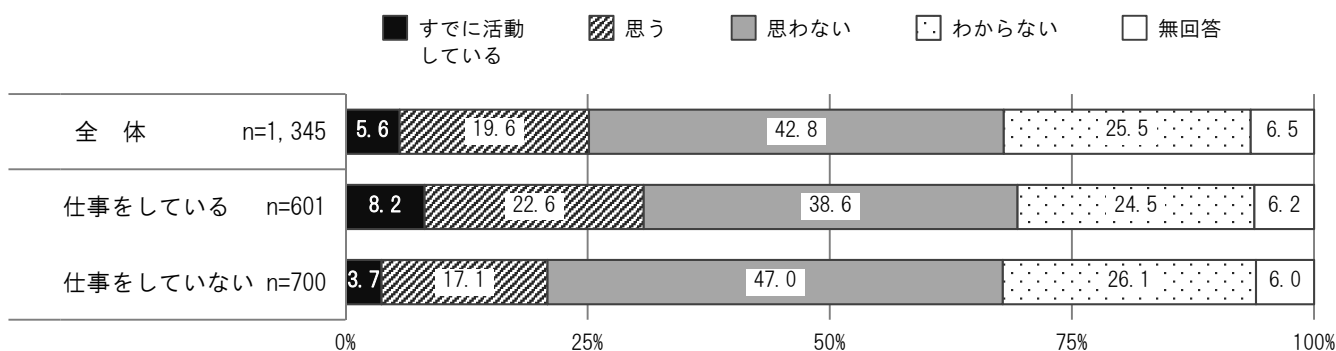
5 地域とのかかわり、社会参加について

問 19 あなたは地域で支援を必要とする高齢者の支え手（近所の方への買い物や掃除などの日常生活のお手伝い）として活動してみたいと思いますか。（1つに○）

- ▶ 高齢者の支え手として「すでに活動している」が5.6%、活動したいと「思う」が19.6%
- ▶ 高齢者の支え手として活動してみたいと「思わない」は、「仕事をしている」人が38.6%、「仕事をしていない」人が47.0%

・この1年間に行った地域活動等別にみると、ボランティアやNPO活動は「すでに活動している」が34.9%、健康づくり・スポーツ活動は活動したいと「思う」が25.9%となっている。[図表3-33]

図表 3-32 高齢者の支え手としての活動意向／就労状況別

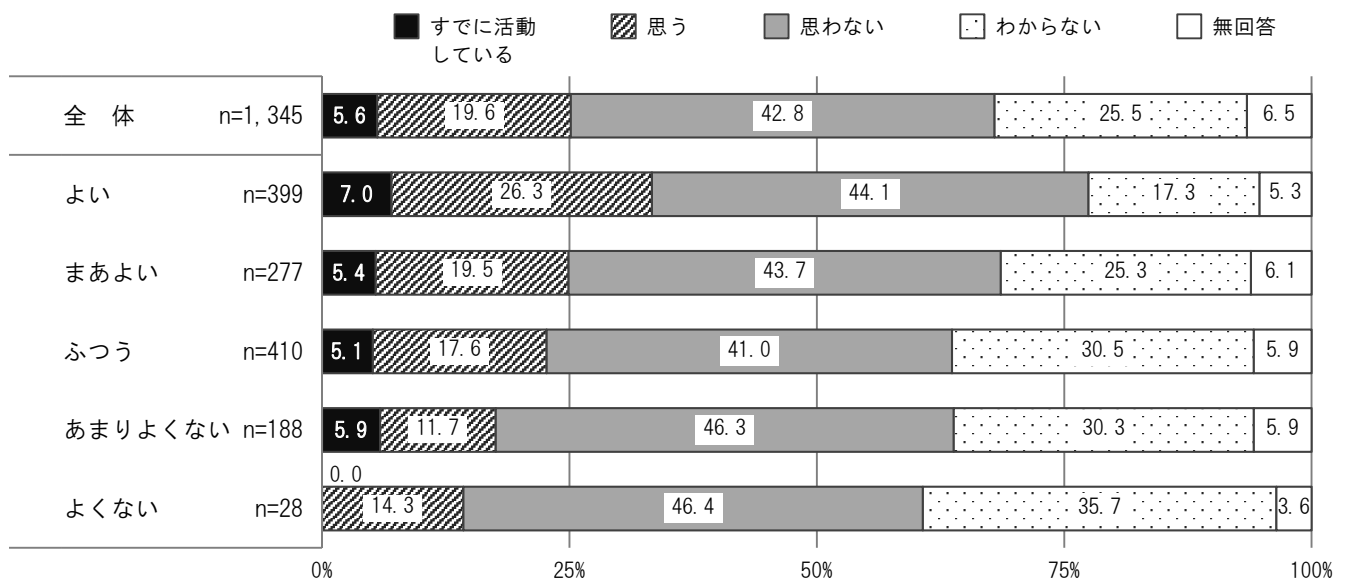


図表 3-33 高齢者の支え手としての活動意向／1年間に行った地域活動等別（複数回答） 単位：%

項目	回答者数 (人)	すでに活動している	思う	思わない	わからない	無回答	
全体	1345	5.6	19.6	42.8	25.5	6.5	
1年間に行った地域活動等	趣味や教養活動	308	7.8	24.0	44.5	20.8	2.9
	健康づくり・スポーツ活動	290	10.3	25.9	38.6	21.7	3.4
	町会・自治会、シニア（老人）クラブなどの活動	250	13.6	25.2	35.6	17.2	8.4
	ボランティアやNPO活動	43	34.9	20.9	23.3	14.0	7.0
	その他	49	6.1	18.4	42.9	20.4	12.2
	参加していない	617	2.8	15.9	46.5	29.0	5.8

- ・高齢者の支え手としての活動意向を健康状態別にみると、健康状態が『よい』方は「すでに活動している」が7.0%、活動したいと「思う」が26.3%となっている。[図表 3-34]

図表 3-34 高齢者の支え手としての活動意向／健康状態別

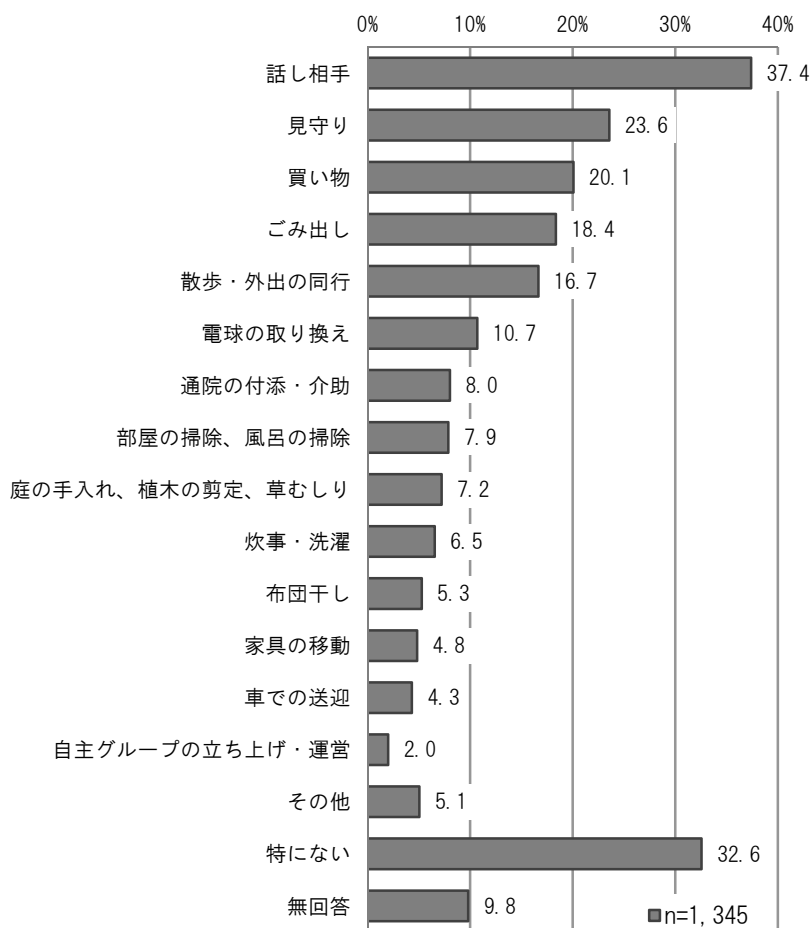


問 20 地域で支援を必要とする高齢者の支え手として、あなた自身ができることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手としてできることは、「話し相手」が37.4%

・地域で支援を必要とする高齢者の支え手としてできることは、「話し相手」が37.4%で最も高く、次いで「見守り」が23.6%、「買い物」が20.1%となっている。[図表 3-35]

図表 3-35 高齢者の支え手としてできること（複数回答）



・性別でみると、「電球の取り換え」「家具の移動」「車での送迎」は男性のほうが高く、「話し相手」は女性のほうが高くなっている。[図表 3-36]

図表 3-36 高齢者の支え手としてできること（複数回答）／性別 単位：%

項目		回答者数(人)	話し相手	見守り	買い物	ごみ出し	同行 散歩・外出の	電球の取り換え	介助 通院の付添・	風呂の掃除 部屋の掃除、	庭の手入れ、 植木の剪定、 草むしり
全体		1,345	37.4	23.6	20.1	18.4	16.7	10.7	8.0	7.9	7.2
性別	男性	594	30.8	24.6	17.5	19.7	15.2	19.2	8.1	7.4	9.9
	女性	702	43.4	23.2	22.8	17.9	18.5	3.6	8.4	8.4	5.1

項目		回答者数(人)	炊事・洗濯	布団干し	家具の移動	車での送迎	自主グループ の立ち上げ・ 運営	その他	特にない	無回答
全体		1,345	6.5	5.3	4.8	4.3	2.0	5.1	32.6	9.8
性別	男性	594	3.7	5.9	9.3	8.4	2.5	5.4	36.9	8.6
	女性	702	9.3	4.7	1.0	0.9	1.6	4.8	29.1	10.3

・年齢別にみると、「話し相手」は 85 歳以上を除くすべての年代で 3 割を超え、「見守り」「買い物」は『65～69 歳』が高くなっている。[図表 3-37]

図表 3-37 高齢者の支え手としてできること（複数回答）／年齢別 単位：%

項目		回答者数(人)	話し相手	見守り	買い物	ごみ出し	同行 散歩・外出の	電球の取り換え	通院の付添・介助	風呂の掃除 部屋の掃除、	庭の手入れ、植木 の剪定、草むしり
全体		1,345	37.4	23.6	20.1	18.4	16.7	10.7	8.0	7.9	7.2
年齢	65～69 歳	319	40.8	28.5	26.3	22.3	16.9	17.9	11.9	11.6	8.8
	70～74 歳	372	38.4	25.5	23.9	19.6	19.6	11.3	9.1	7.3	7.3
	75～79 歳	306	37.3	24.2	20.3	21.9	19.0	10.1	8.5	7.8	7.8
	80～84 歳	188	36.7	17.0	12.8	11.2	13.8	2.7	3.7	4.8	3.7
	85 歳以上	110	29.1	14.5	4.5	10.0	8.2	4.5	0.9	4.5	8.2

項目		回答者数(人)	炊事・洗濯	布団干し	家具の移動	車での送迎	自主グループ の立ち上げ・ 運営	その他	特にない	無回答
全体		1,345	6.5	5.3	4.8	4.3	2.0	5.1	32.6	9.8
年齢	65～69 歳	319	7.8	7.8	8.2	8.2	2.5	7.2	28.5	5.3
	70～74 歳	372	5.9	4.8	4.8	3.8	2.2	4.6	31.5	7.0
	75～79 歳	306	9.5	4.9	4.2	3.3	2.6	2.9	33.7	9.5
	80～84 歳	188	3.2	3.7	2.7	2.1	0.5	4.8	38.8	14.9
	85 歳以上	110	4.5	2.7	0.9	1.8	1.8	7.3	35.5	19.1

第3章 一般高齢者調査の結果

- ・活動意向別にみると、『すでに活動している』、活動したいと『思う』と回答している人が、すべての活動で高くなっている。[図表 3-38]

図表 3-38 高齢者の支え手としてできること（複数回答）／活動意向別

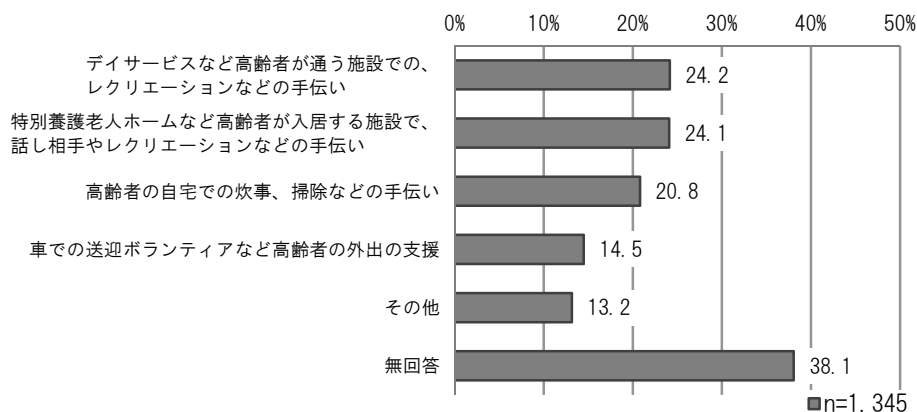
単位：％

項目		回答者数 (人)	話し相手	見守り	買い物	ごみ出し	散歩・外出の同行	電球の取り換え	通院の付添・介助	部屋の掃除、風呂の掃除	庭の手入れ、植木の剪定、草むしり
全 体		1,345	37.4	23.6	20.1	18.4	16.7	10.7	8.0	7.9	7.2
活動意向	すでに活動している	75	70.7	52.0	49.3	38.7	41.3	25.3	29.3	26.7	20.0
	思う	263	67.7	45.2	46.8	38.0	40.7	21.3	19.0	20.9	13.7
	思わない	576	23.1	14.2	8.5	8.5	5.4	4.5	3.0	1.9	2.6
	わからない	343	35.0	19.8	15.7	18.4	14.6	11.7	4.4	5.2	7.3
項目		回答者数 (人)	炊事・洗濯	布団干し	家具の移動	車での送迎	自主グループの立ち上げ・運営	その他	特にない	無回答	
全 体		1,345	6.5	5.3	4.8	4.3	2.0	5.1	32.6	9.8	
活動意向	すでに活動している	75	26.7	21.3	12.0	12.0	8.0	13.3	2.7	5.3	
	思う	263	16.0	12.9	11.4	8.7	4.2	4.9	3.0	2.3	
	思わない	576	2.3	1.0	1.7	2.8	1.0	3.6	53.3	8.2	
	わからない	343	3.5	2.9	4.1	2.6	0.9	5.5	32.7	7.6	

問 21 ボランティアポイント制度とは、高齢者等の支援を行うボランティア活動に対して、実績に基づき奨励品と交換可能なポイントを付与するものです。あなたがボランティアを行う場合、どのような活動にポイントがつくとよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

▶ ボランティアポイントがつくとよい活動は、「デイサービスなど高齢者が通う施設での、レクリエーションなどの手伝い」が 24.2%、「特別養護老人ホームなど高齢者が入居する施設で、話し相手やレクリエーションなどの手伝い」が 24.1%

図表 3-39 ボランティアポイントがつくとよい活動（複数回答）

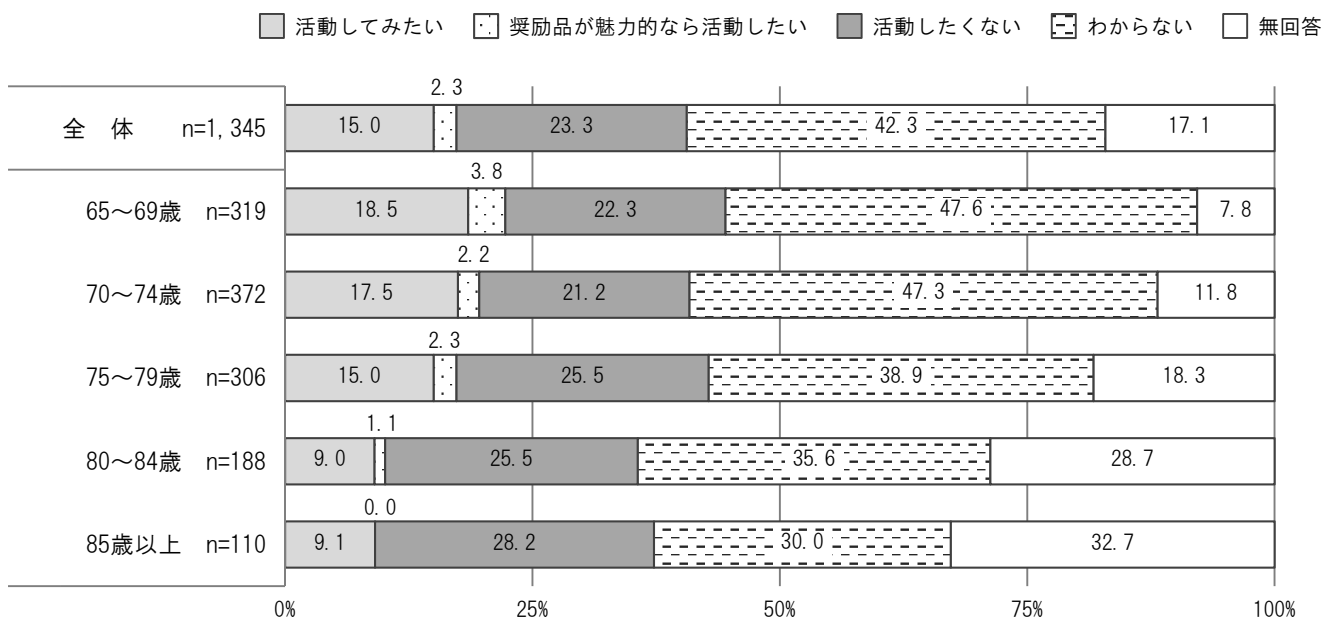


問 22 高齢者の支え手としての活動(ボランティア活動)にボランティアポイントがつくとしたら、活動したいと思いますか。（1つに○）

▶ ポイントがつく場合のボランティア活動意向については、「活動してみたい」が 15.0%

・年齢別にみると、「活動してみたい」は『65～69歳』で 18.5%と最も高く、『80～84歳』まで高齢になるにつれて低くなっている。[図表 3-40]

図表 3-40 ポイントがつく場合のボランティア活動意向／年齢別

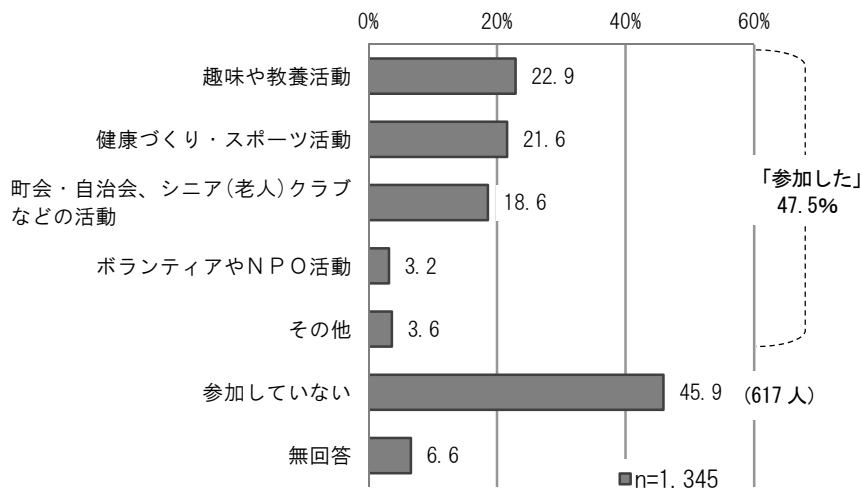


問 23 この1年間に趣味やスポーツ、地域活動などを行いましたか。
(あてはまるものすべてに○)

▶この1年間で地域活動等に「参加した」は47.5%、行った活動は「趣味や教養活動」が22.9%

・この1年間に行った趣味やスポーツ、地域活動などは「趣味や教養活動」が22.9%、「健康づくり・スポーツ活動」が21.6%、「町会・自治会、シニア(老人)クラブなどの活動」が18.6%となっている。[図表 3-41]

図表 3-41 1年間に行った地域活動等(複数回答)



問 23-1 「参加していない」に○をした方におうかがいします。地域活動や講座に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

▶参加していないと回答した617人の理由は、「健康・体力に自信がない」が30.3%、「仕事のために時間がない」が29.7%

・年齢別にみると、地域活動等に参加していない理由は、『65～69歳』『70～74歳』では「仕事のために時間がない」が最も高く、『75～79歳』以上の年代では「健康・体力に自信がない」が最も高くなっている。[図表 3-42]

図表 3-42 地域活動等に参加していない理由/年齢別(複数回答) 単位: %

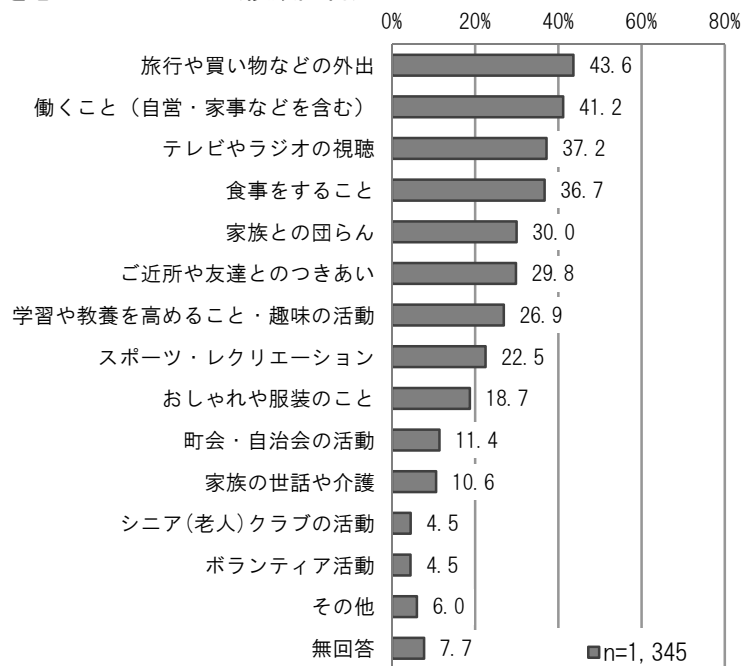
項目	回答者数(人)	仕事のために時間がない	余裕がない	介護などで余がない	知っている人がいない	情報が入ってこない	きっかけがない	健康・体力に自信がない	興味・関心がない	わずらわしい	その他	特にない	無回答
全体	617	29.7	6.5	12.0	12.2	18.5	30.3	10.9	9.7	6.0	14.1	1.1	
年齢	65～69歳	147	42.2	8.8	12.9	17.0	19.0	22.4	17.0	15.0	8.2	9.5	-
	70～74歳	169	36.1	4.1	18.3	15.4	26.0	23.7	11.2	10.1	4.7	10.7	0.6
	75～79歳	139	26.6	7.9	9.4	8.6	19.4	30.9	7.9	6.5	5.0	17.3	1.4
	80～84歳	90	11.1	7.8	10.0	8.9	12.2	47.8	5.6	5.6	2.2	18.9	1.1
	85歳以上	47	12.8	2.1	2.1	4.3	6.4	42.6	10.6	12.8	10.6	23.4	6.4

6 生きがいについて

問24 あなたが「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

▶「生きがい」を感じていることは、「旅行や買い物などの外出」が43.6%、「働くこと（自営・家事などを含む）」が41.2%

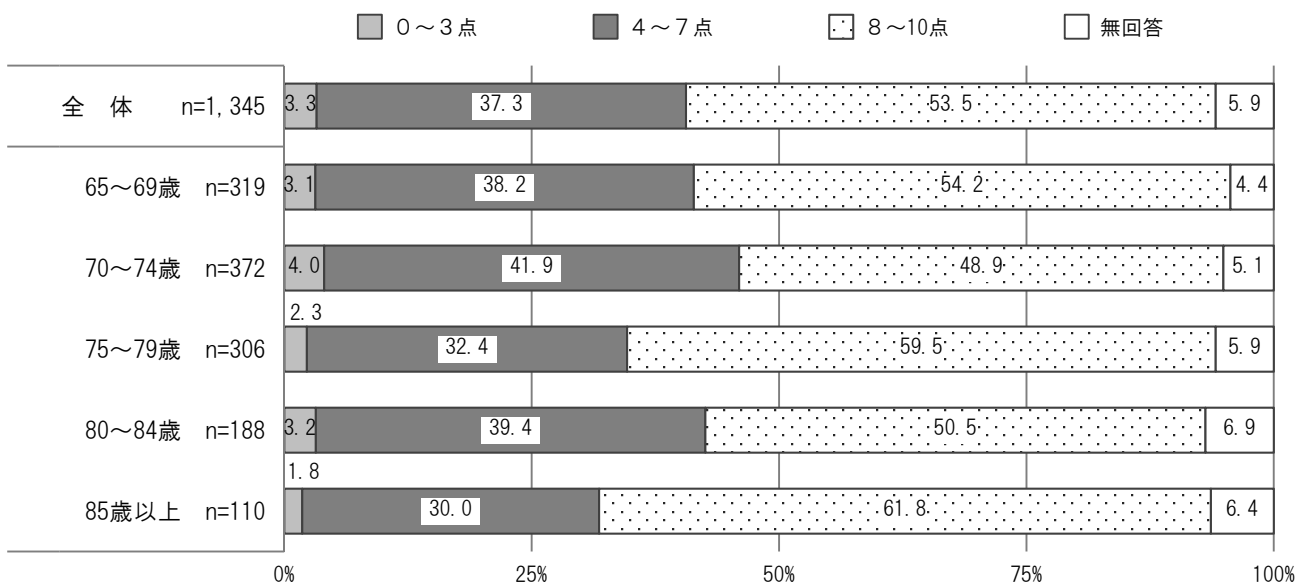
図表 3-43 生きがいを感じていること（複数回答）



問25 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）

▶幸福感（10点満点）は、「8～10点」が53.5%

図表 3-44 幸福感（10点満点）／年齢別



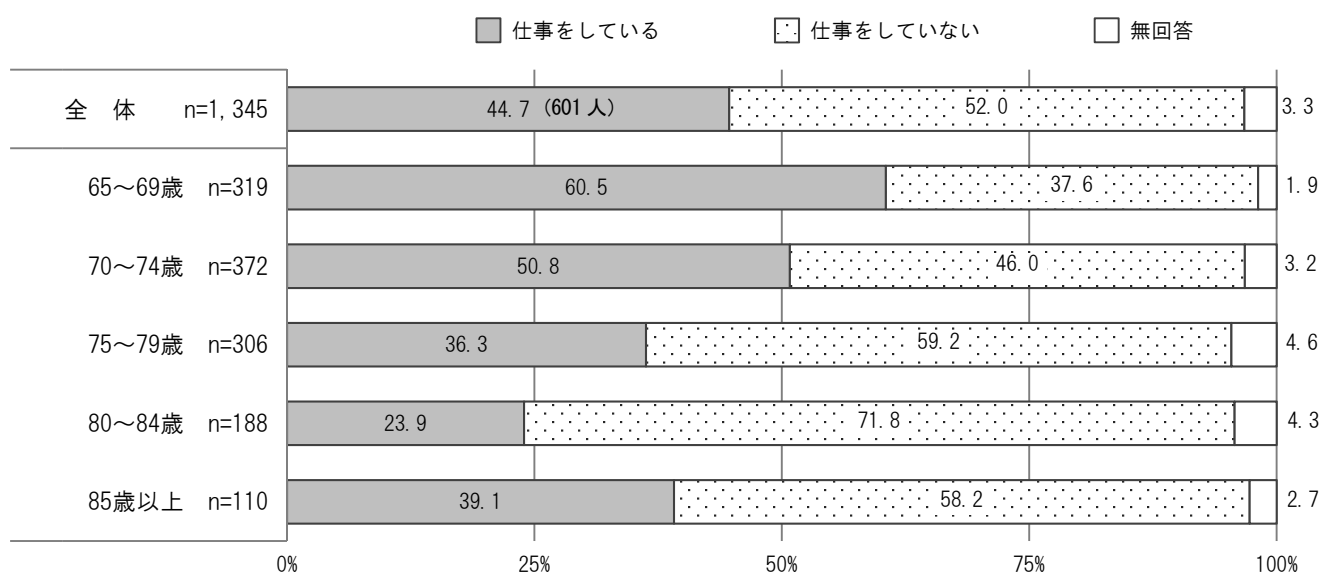
7 就労について

問 26 あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）

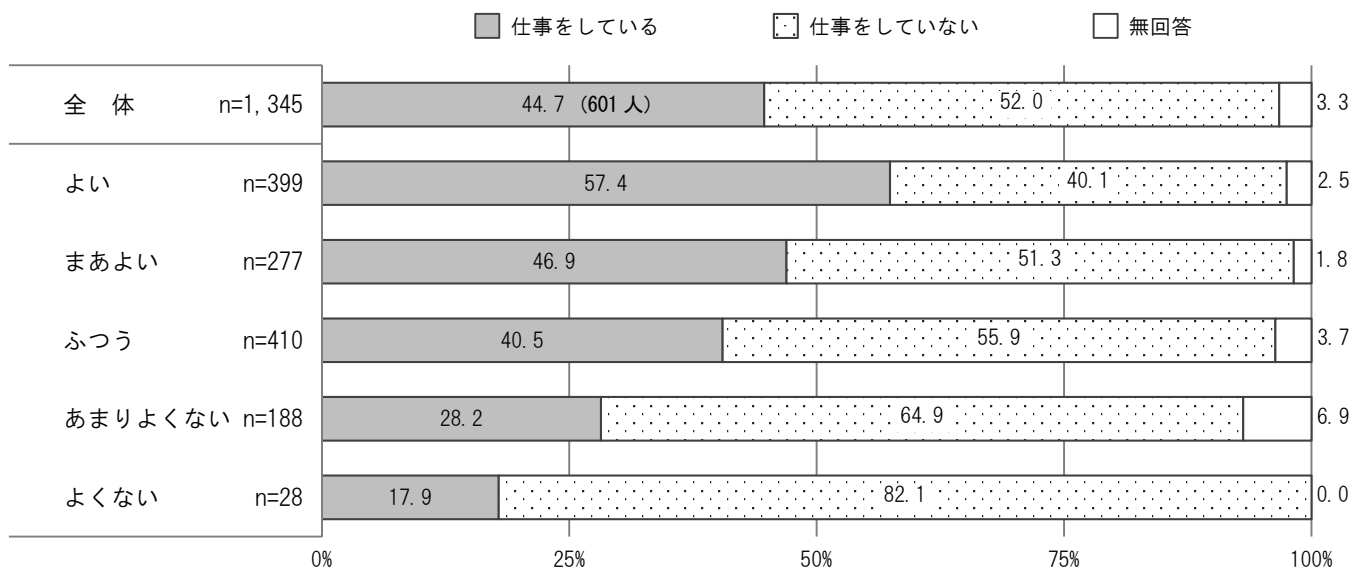
▶ 現在、収入のある「仕事をしている」が44.7%、年齢別では『65～69歳』が60.5%

- ・年齢別でみると、就労状況の「仕事をしている」は、『65～69歳』が60.5%で最も高く、『80～84歳』まで高齢になるにつれて低くなっている。[図表3-45]
- ・健康状態別にみると、「仕事をしている」人は『よい』が57.4%、『まあよい』が46.9%、『ふつう』が40.5%で、健康状態が良好なほど就労している。[図表3-46]

図表 3-45 就労状況／年齢別



図表 3-46 就労状況／健康状態別

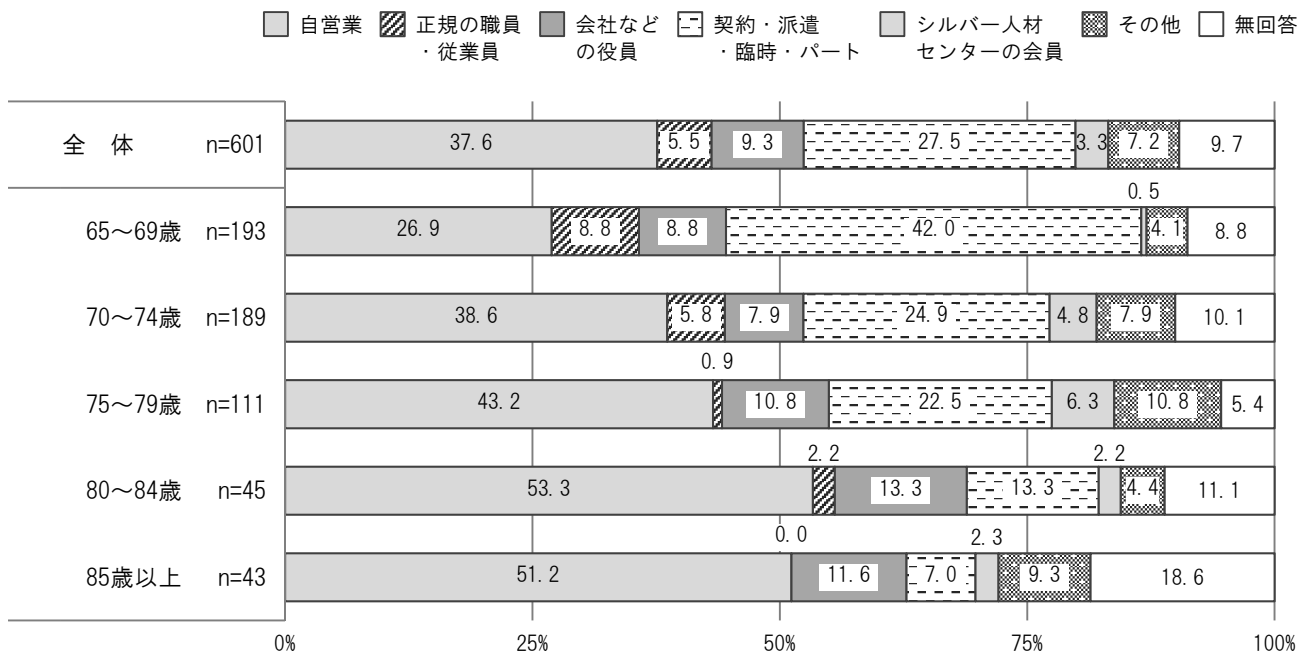


問26-1 「仕事をしている」に○をした方におうかがいします。
それはどのような仕事ですか。(1つに○)

▶収入のある「仕事をしている」と回答した601人の仕事の種類は、「自営業」が37.6%、「契約・派遣・臨時・パート」が27.5%

・年齢別にみると、「自営業」は『80～84歳』が53.3%、「契約・派遣・臨時・パート」は『65～69歳』が42.0%で高くなっている。[図表3-47]

図表3-47 仕事の種類／年齢別

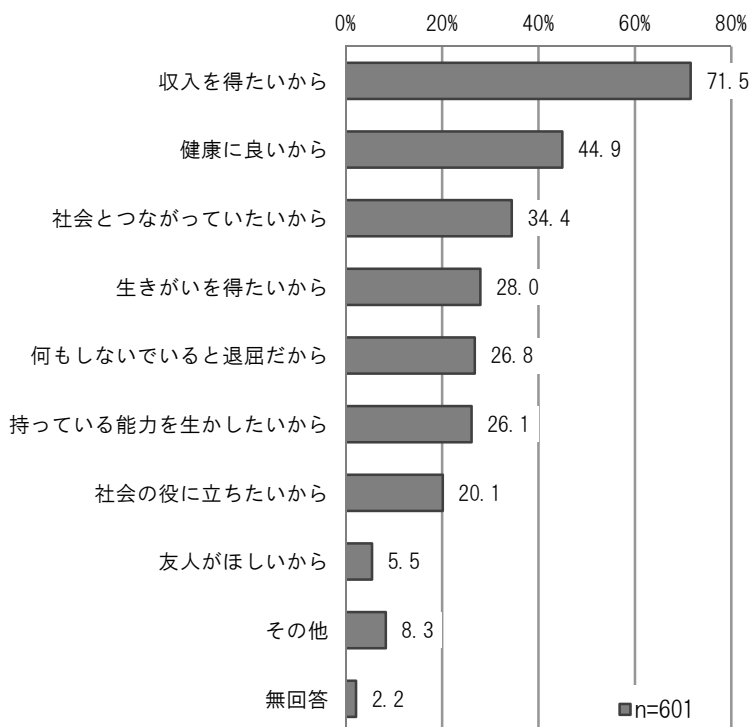


問 26-2 「仕事をしている」に○をした方におうかがいします。
 あなたが仕事をしている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

▶ 「仕事をしている」と回答した 601 人の仕事をしている理由は、「収入を得たいから」が 71.5%、「健康に良いから」が 44.9%

・年齢別にみると、「収入を得たいから」は『65～69 歳』が 78.8%、「健康に良いから」は『75～79 歳』が 57.7%で高くなっている。[図表 3-49]

図表 3-48 仕事をしている理由（複数回答）



図表 3-49 仕事をしている理由（複数回答）／年齢別

単位：%

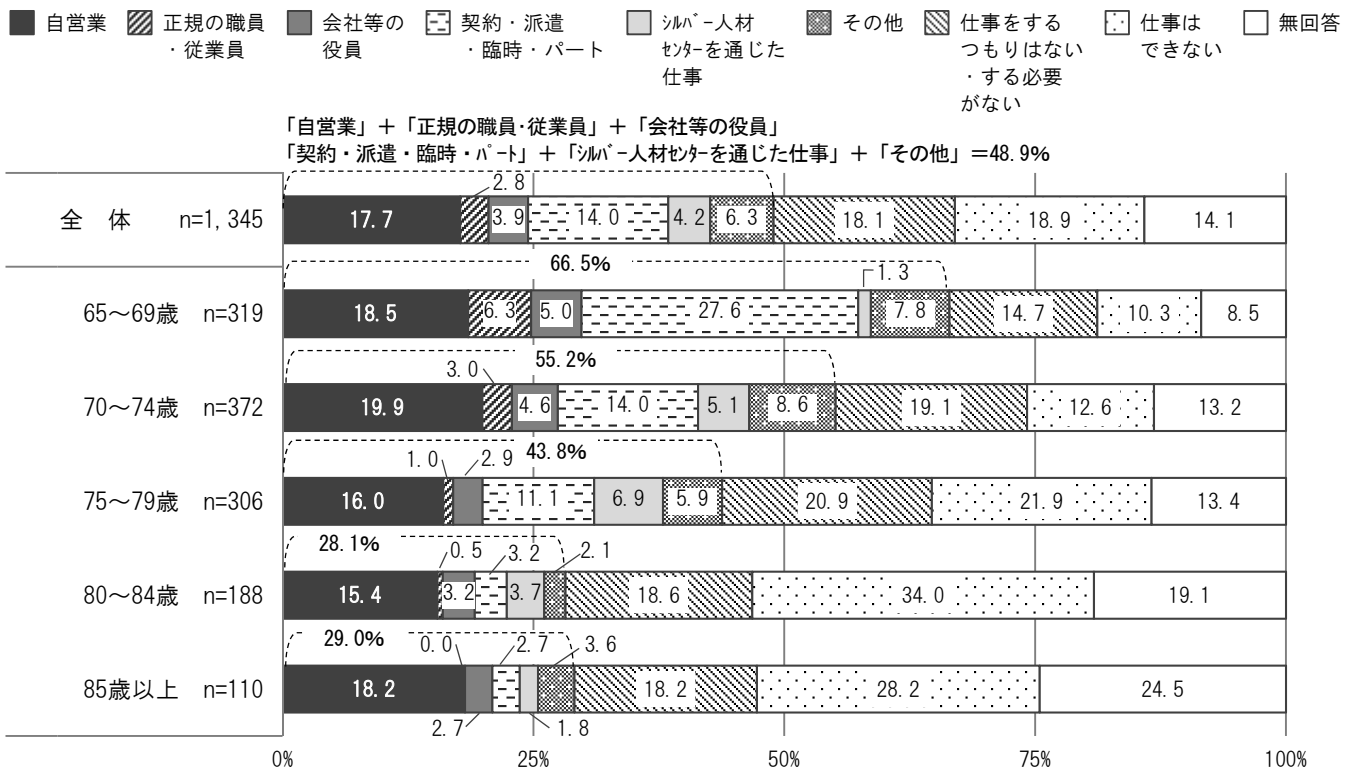
項目	回答者数 (人)	収入を得たいから	健康に良いから	社会とつながっていたいから	生きがいを得たいから	何もしないでいると退屈だから	持っている能力を生かしたいから	社会の役に立ちたいから	友人がほしいから	その他	無回答	
		全体	601	71.5	44.9	34.4	28.0	26.8	26.1	20.1	5.5	8.3
年齢	65～69 歳	193	78.8	36.3	34.7	25.9	27.5	26.9	21.8	4.1	8.8	2.1
	70～74 歳	189	75.7	45.0	37.6	29.1	26.5	28.0	20.1	6.3	8.5	1.6
	75～79 歳	111	67.6	57.7	36.9	32.4	34.2	26.1	23.4	6.3	7.2	0.9
	80～84 歳	45	60.0	51.1	24.4	22.2	17.8	20.0	17.8	8.9	4.4	2.2
	85 歳以上	43	44.2	41.9	18.6	27.9	14.0	25.6	7.0	2.3	14.0	7.0

問27 今後、仕事をしたい、または、続けたいと思いますか。(1つに○)

▶ 今後の就労意向は、「自営業」「正規の職員・従業員」「会社等の役員」「契約・派遣・臨時・パート」「シルバー人材センターを通じた仕事」「その他」を合わせると48.9%

・年齢別にみると、今後の就労意向がある割合は、『65～69歳』が66.5%、『70～74歳』が55.2%、『75～79歳』が43.8%で、『65～69歳』では「契約・派遣・臨時・パート」、そのほかの年代では「自営業」が最も高い。[図表3-50]

図表3-50 今後の就労意向／年齢別

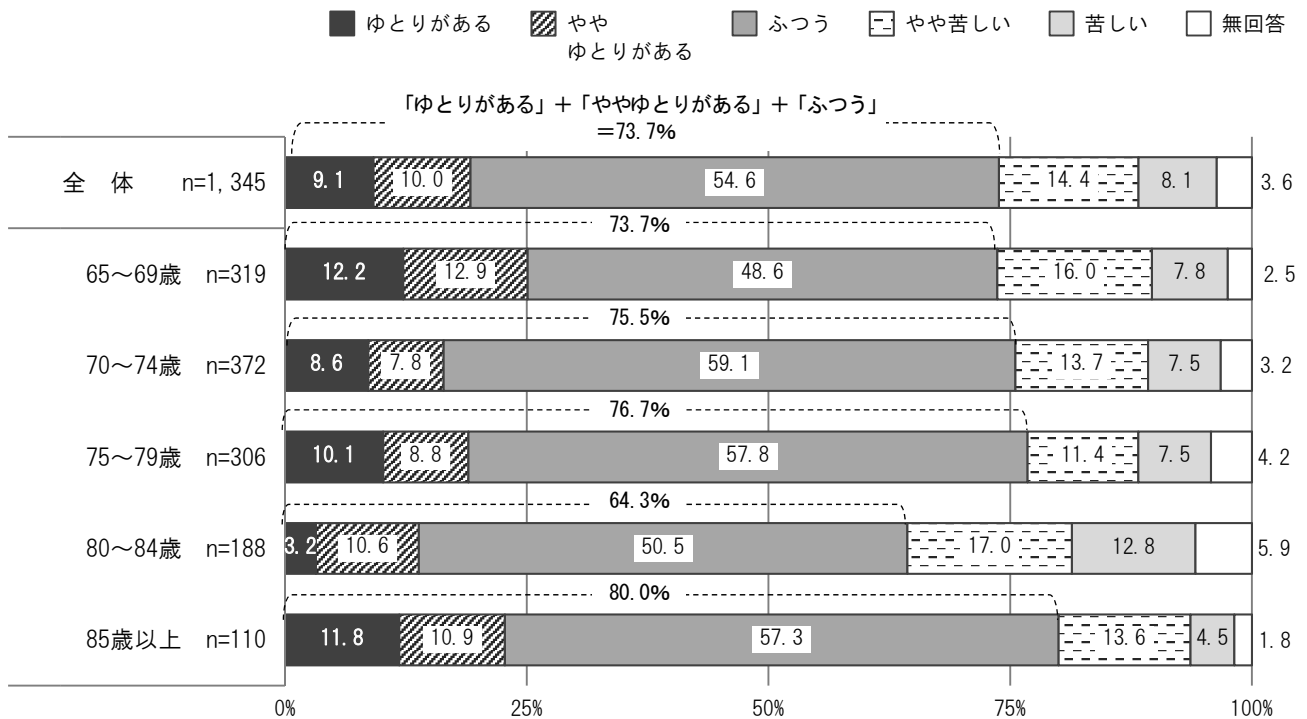


問 28 経済的にみて、現在の暮らしの状況をどう感じていますか。（1つに○）

▶経済的にみて、現在の暮らしは、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると73.7%

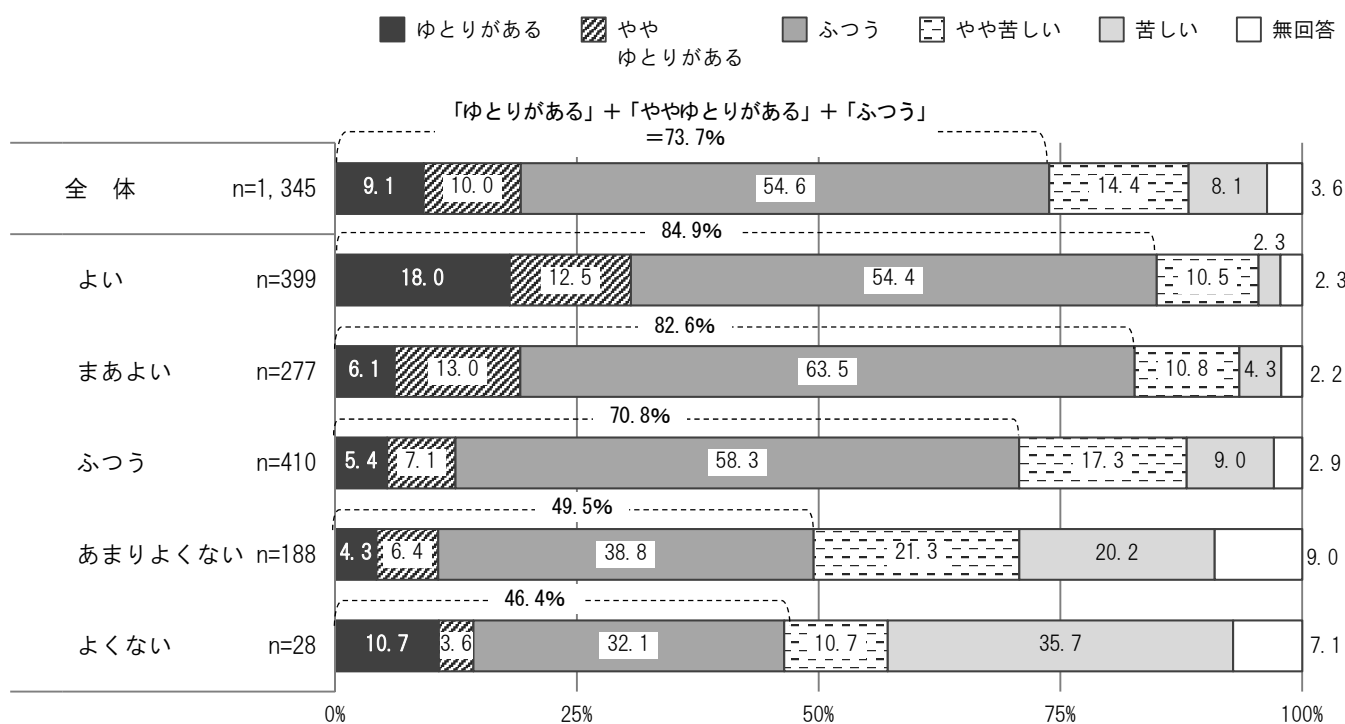
・年齢別にみると、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると、『85歳以上』が80.0%と最も高い。[図表3-51]

図表3-51 暮らし向き／年齢別

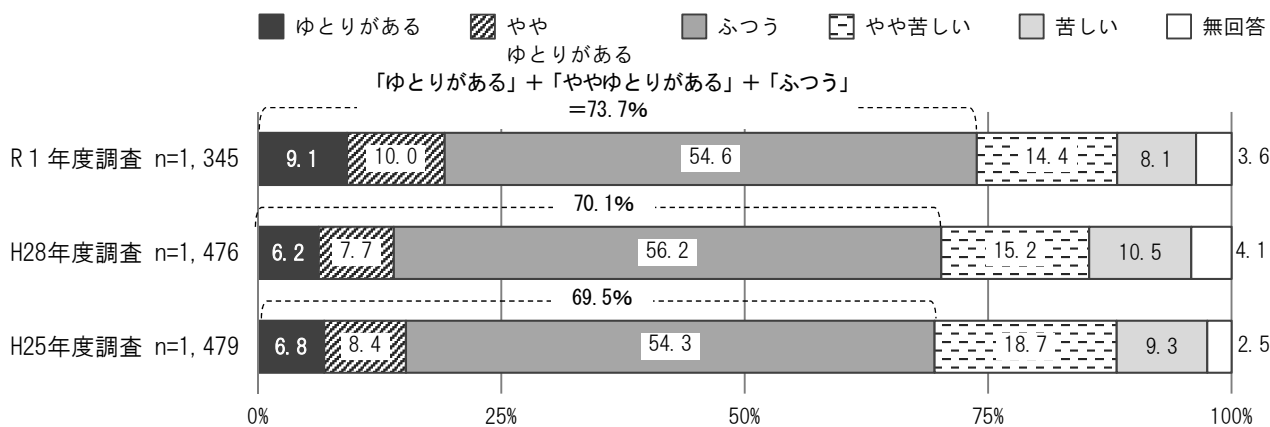


- ・健康状態別にみると、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると、『よい』が84.9%となっており、健康状態がよいほど、暮らしにゆとりがある状況がうかがえる。[図表 3-52]
- ・経年比較では、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると73.7%で、平成28年度調査より3.6ポイント、平成25年度調査より4.2ポイント高くなっている。[図表 3-53]

図表 3-52 暮らし向き／健康状態別



図表 3-53 暮らし向き／経年比較



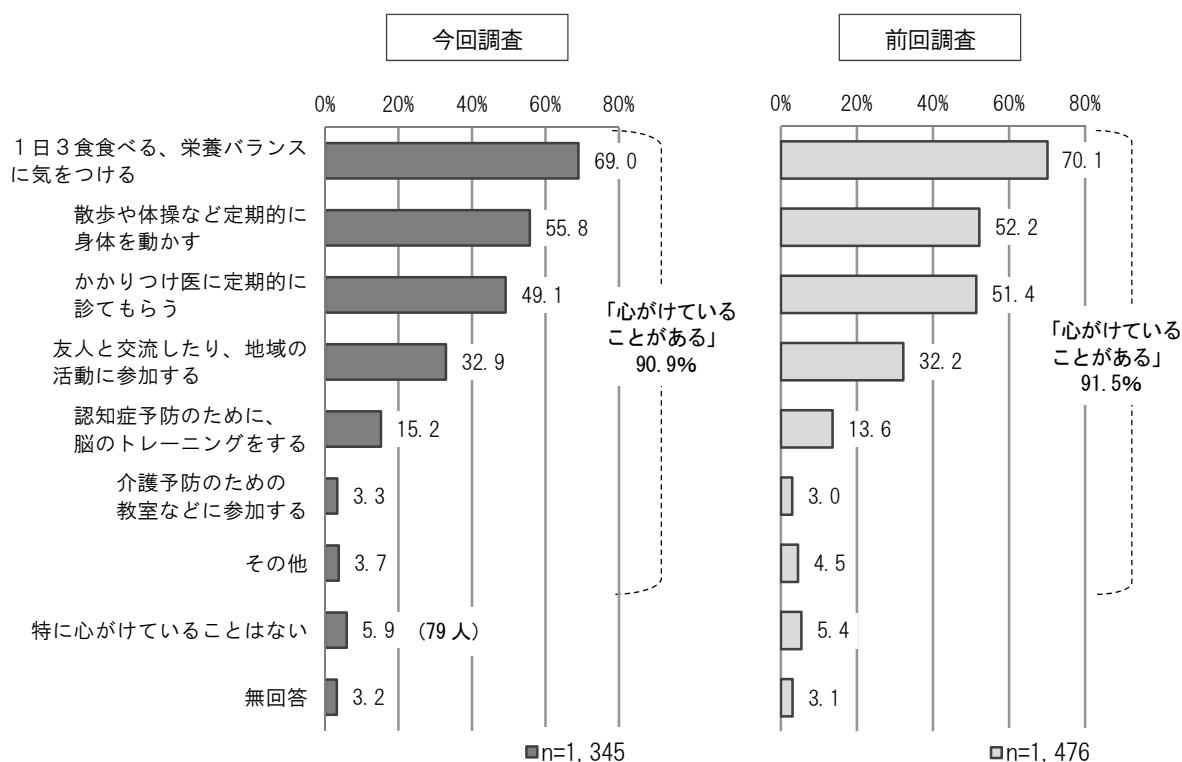
8 介護予防について

問 29 介護が必要にならないように、日ごろから心がけていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

▶ 介護が必要にならないために「心がけていることがある」が 90.9%

- ・ 介護が必要にならないために心がけていることは、「1日3食食べる、栄養バランスに気をつける」が 69.0%で最も高く、次いで「散歩や体操など定期的に身体を動かす」が 55.8%、「かかりつけ医に定期的に診てもらう」が 49.1%となっている。[図表 3-54]
- ・ 経年比較では、「心がけていることがある」は 90.9%で、前回調査より 0.6 ポイント低くなっている。[図表 3-54]

図表 3-54 介護が必要にならないために心がけていること（複数回答）／経年比較

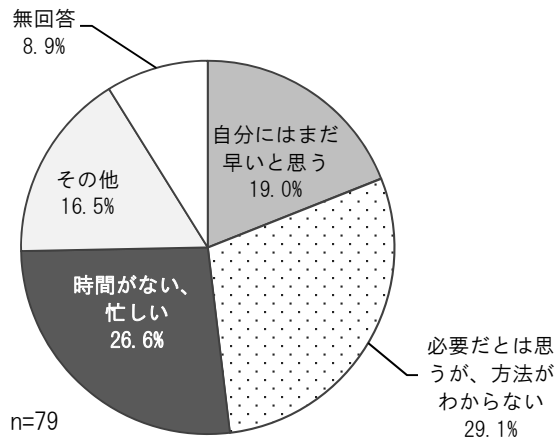


※ 「心がけていることがある」 = 100% - 「特に心がけていることはない」 - 「無回答」

問 29-1 「特に心がけていることはない」に○をした方におうかがいします。特に心がけていることはない理由を教えてください。（1つに○）

▶特に心がけていることはないと回答した79人の理由は、「必要だとは思うが、方法がわからない」が29.1%、「時間がない、忙しい」が26.6%、

図表 3-55 介護予防について特に心がけていることはない理由

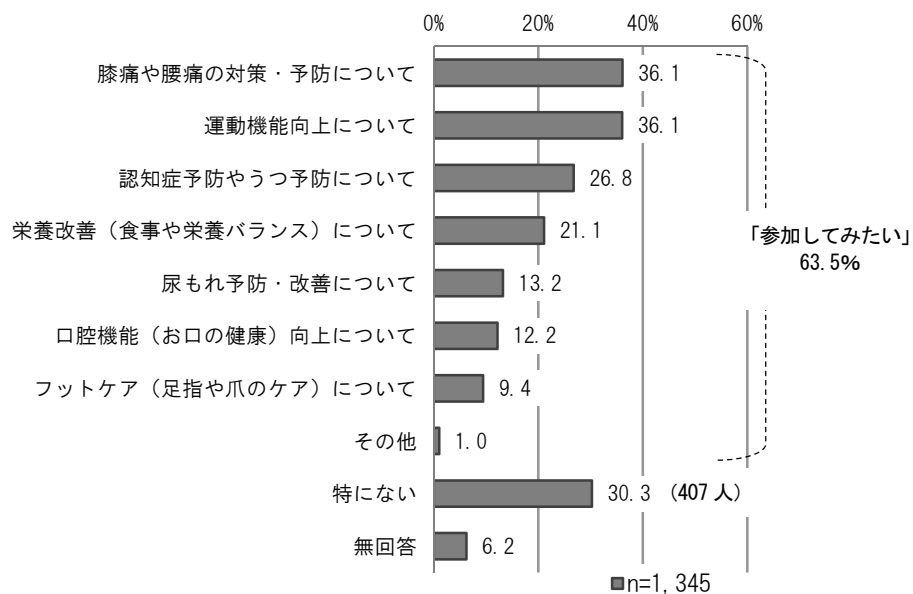


問 30 次のうち、あなたが参加してみたいと思う「介護予防教室」はありますか。（あてはまるものすべてに○）

▶介護予防教室に「参加してみたい」が63.5%

・介護予防教室に参加してみたい人は63.5%で、そのうち参加してみたい教室は「膝痛や腰痛の対策・予防について」「運動機能向上について」がともに36.1%、「認知症予防やうつ予防について」が26.8%となっている。[図表 3-56]

図表 3-56 参加してみたい介護予防教室（複数回答）



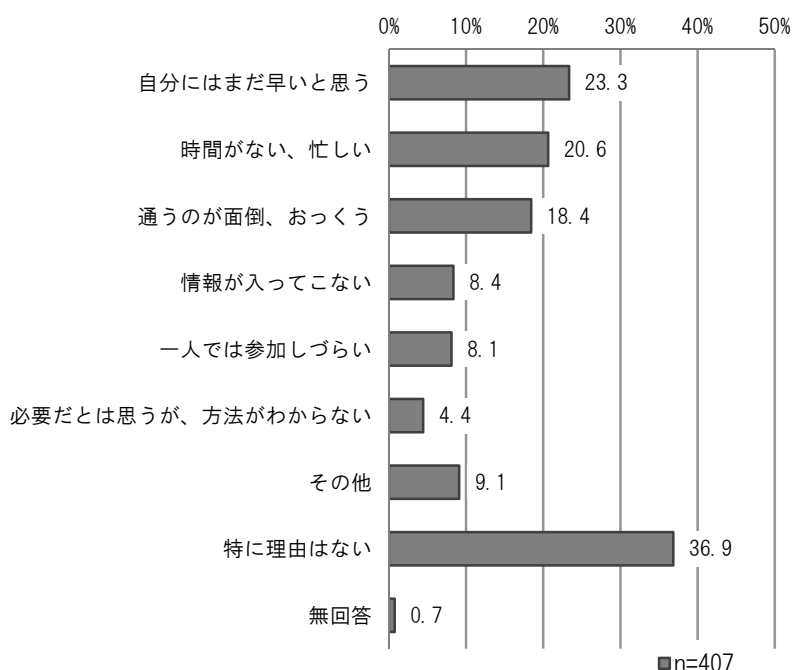
※「参加してみたい」=100% - 「特にない」 - 「無回答」

問 30-1 「特にない」に○をした方におうかがいします。介護予防教室に参加したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

▶介護予防教室の参加意向で「特にない」と回答した 407 人の参加したいと思わない理由は、「特に理由はない」が 36.9%、「自分にはまだ早いと思う」が 23.3%

- ・性別で見ると、男性は「自分にはまだ早いと思う」が 29.8%、女性は「時間がない、忙しい」が 24.2%となっている。[図表 3-58]
- ・年齢別にみると、「自分にはまだ早いと思う」は『65～69 歳』が 37.4%と高くなっている。[図表 3-58]

図表 3-57 介護予防教室に参加したいと思わない理由（複数回答）



図表 3-58 介護予防教室に参加したいと思わない理由（複数回答）／性別・年齢別 単位：%

項目	回答者数(人)	自分にはまだ早いと思う	時間がない、忙しい	通うのが面倒、おっくう	情報が入ってこない	一人では参加しづらい	必要だとは思いますが、方法がわからない	その他	特に理由はない	無回答	
		全体	407	23.3	20.6	18.4	8.4	8.1	4.4	9.1	36.9
性別	男性	208	29.8	16.8	16.8	9.6	4.3	4.8	7.7	36.1	0.5
	女性	186	15.6	24.2	19.4	6.5	11.3	4.3	10.8	39.2	1.1
年齢	65～69 歳	115	37.4	24.3	17.4	7.8	8.7	5.2	12.2	27.0	-
	70～74 歳	116	20.7	22.4	19.8	11.2	7.8	5.2	12.1	34.5	-
	75～79 歳	80	21.3	21.3	17.5	5.0	6.3	1.3	2.5	42.5	1.3
	80～84 歳	50	8.0	12.0	14.0	8.0	12.0	10.0	10.0	46.0	2.0
	85 歳以上	33	12.1	12.1	18.2	6.1	3.0	0	6.1	54.5	3.0

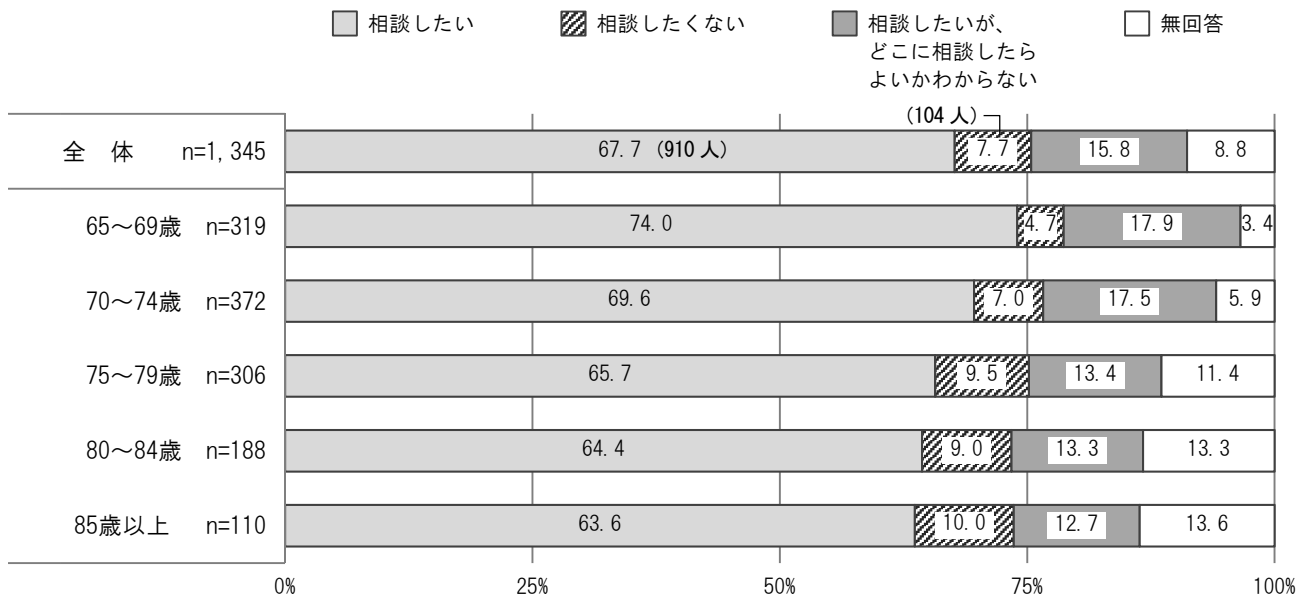
9 認知症や成年後見制度について

問 31 あなたが、認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外でどこかに相談したいと思いますか。（1つに○）

▶認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外に「相談したい」が 67.7%、「相談したいが、どこに相談したらよいかわからない」が 15.8%

・年齢別にみると、「相談したい」は『65～69 歳』が 74.0%、一方、「相談したいがどこに相談したらよいかわからない」も『65～69 歳』が 17.9%で高くなっている。[図表 3-59]

図表 3-59 認知症について家族以外に相談する意向／年齢別



問 31-1 「相談したい」に○をした方におうかがいします。
どこに最初に相談しますか。（1つに○）

▶相談したいと回答した 910 人の家族以外の最初の相談先は、「かかりつけ医、近所の医院」が 52.5%

- ・年齢別にみると、家族以外の最初の相談先が「かかりつけ医、近所の医院」は『85 歳以上』が 62.9%、「精神科や認知症専門の医療機関」は『70～74 歳』が 26.6%で高くなっている。
[図表 3-60]

図表 3-60 家族以外の最初の相談先／年齢別

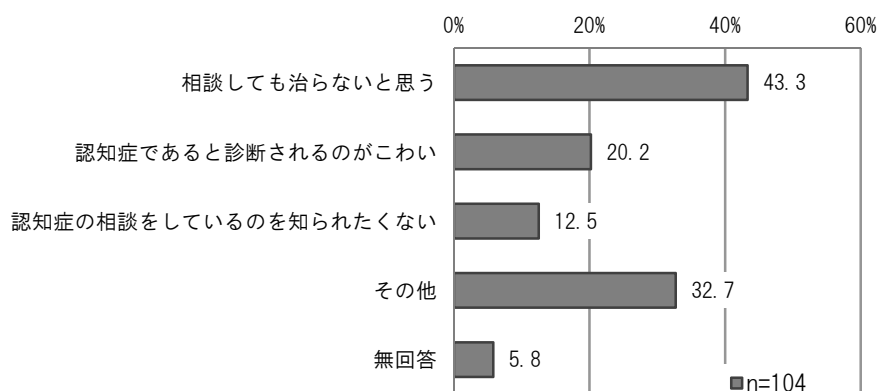
単位：%

項目	回答者数（人）	かかりつけ医、近所の医院	精神科や認知症専門の医療機関（物忘れ外来など）	地域包括支援センター	ケアマネジャー、介護サ―ビス事業所	保健所・保健相談センター	区役所の相談窓口	その他	無回答	
全体	910	52.5	21.9	5.5	1.3	1.6	6.2	2.0	9.0	
年齢	65～69 歳	236	52.5	25.0	5.1	1.3	2.1	3.4	1.7	8.9
	70～74 歳	259	48.6	26.6	5.4	0.8	1.2	7.7	1.9	7.7
	75～79 歳	201	51.7	20.9	6.5	2.0	2.0	5.0	3.5	8.5
	80～84 歳	121	55.4	14.0	3.3	1.7	2.5	12.4	-	10.7
	85 歳以上	70	62.9	10.0	8.6	1.4	-	1.4	2.9	12.9

問 31-2 「相談したくない」に○をした方におうかがいします。相談したくない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

▶家族以外に相談したくないと回答した 104 人の相談したくない理由は、「相談しても治らないと思う」が 43.3%

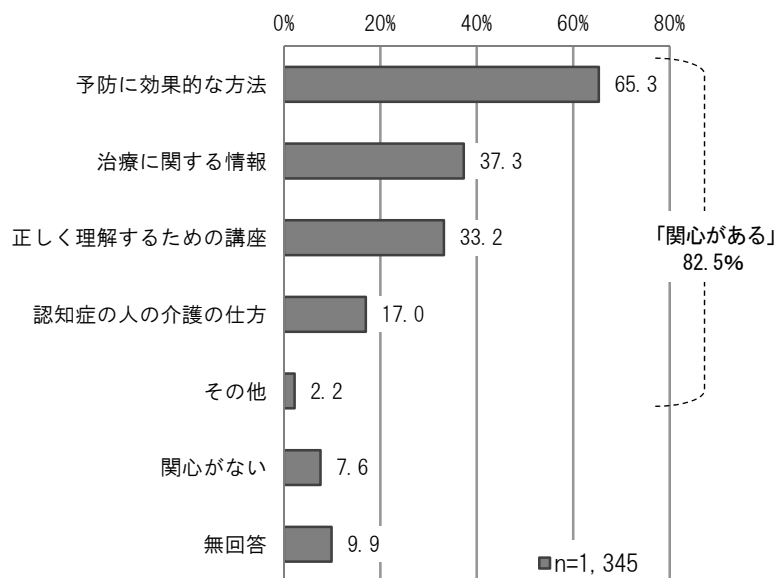
図表 3-61 家族以外に相談したくない理由（複数回答）



問 32 あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

▶ 認知症について「関心がある」は 82.5%で、そのうち「予防に効果的な方法」が 65.3%、「治療に関する情報」が 37.3%

図表 3-62 認知症について関心があること (複数回答)



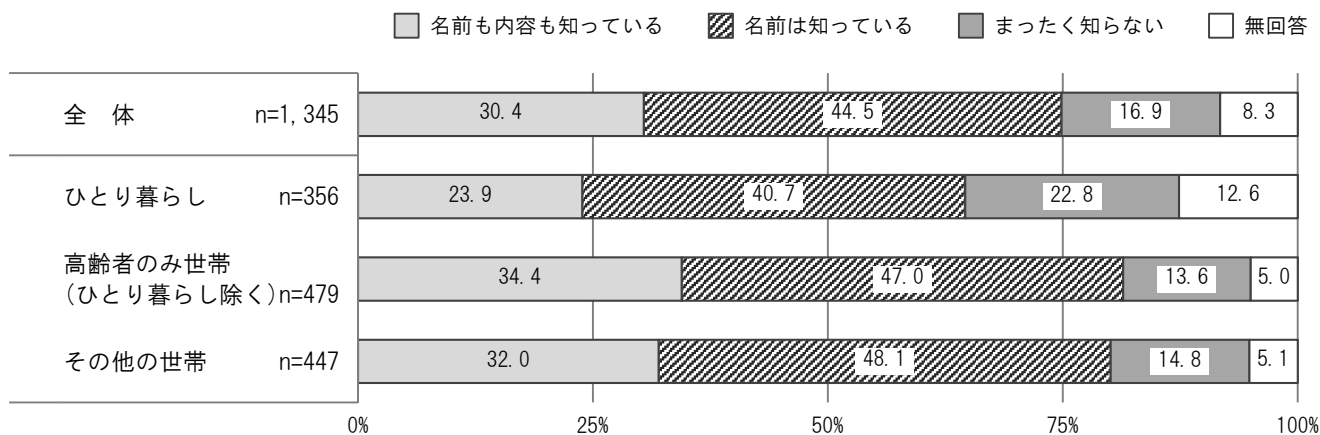
※「関心がある」=100%−「関心がない」−「無回答」

問 33 認知症などにより判断能力が十分でない人を対象に、本人の権利を守るため、援助者が財産の管理や契約行為などを支援する「成年後見制度」について知っていますか。(1つに○)

▶ 成年後見制度について「名前も内容も知っている」は 30.4%

・家族構成別にみると、「名前も内容も知っている」は『高齢者のみ世帯(ひとり暮らし除く)』が 34.4%、一方、「まったく知らない」は、『ひとり暮らし』が 22.8%で高くなっている。
[図表 3-63]

図表 3-63 成年後見制度の認知度/家族構成別

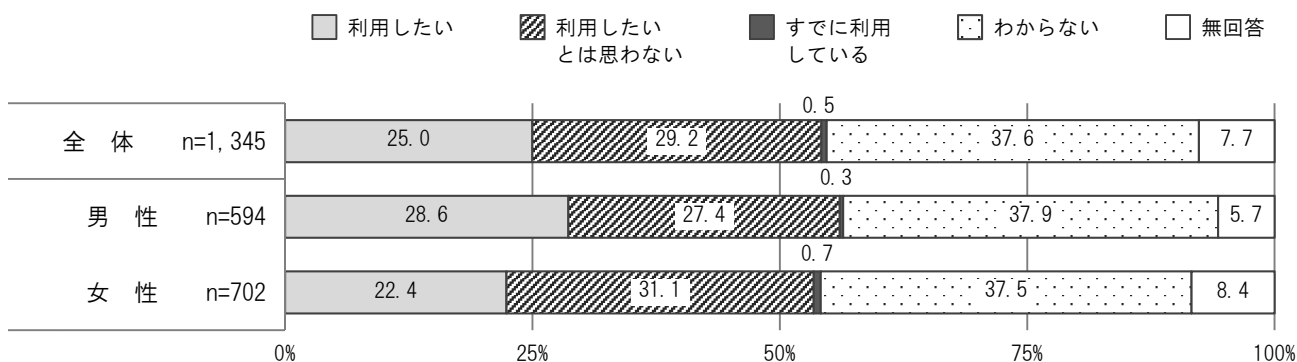


問 34 あなたやご家族が、認知症などにより判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（1つに○）

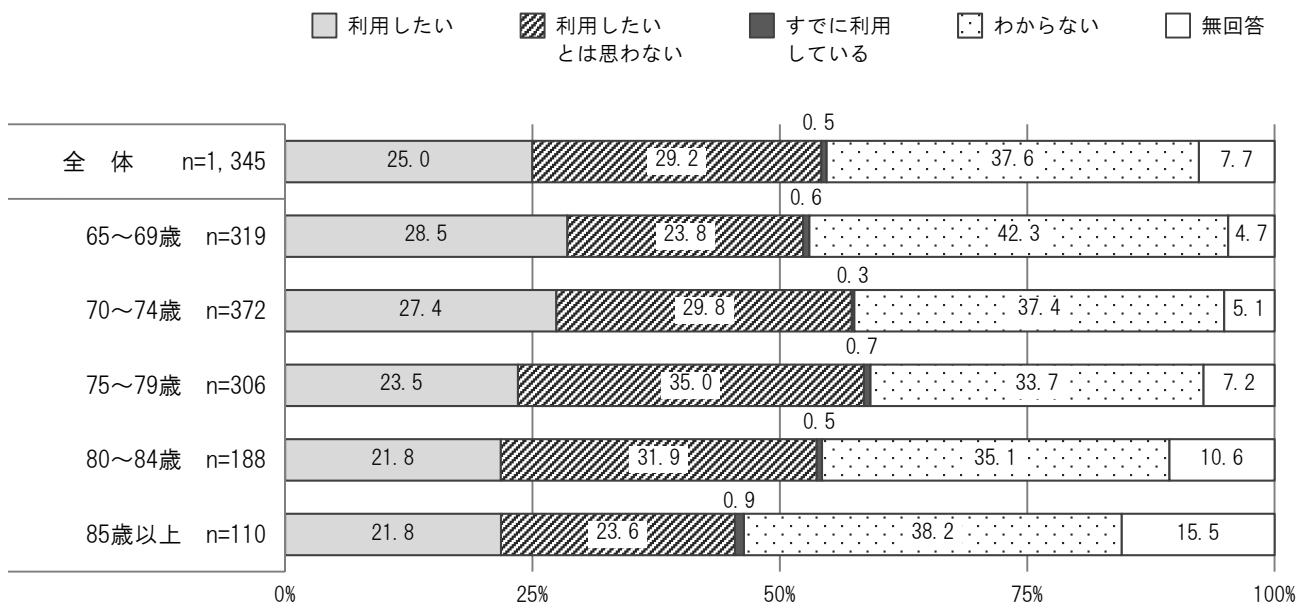
▶ 成年後見制度の利用意向は、「わからない」が 37.6%、「利用したいとは思わない」が 29.2%

- ・性別でみると、「利用したい」は男性が 28.6%、女性が 22.4%、「利用したいとは思わない」は女性が 31.1%、男性が 27.4%となっている。[図表 3-64]
- ・年齢別にみると、「利用したいとは思わない」は『75～79 歳』が 35.0%、『80～84 歳』が 31.9%となっている。[図表 3-65]

図表 3-64 成年後見制度の利用意向／性別



図表 3-65 成年後見制度の利用意向／年齢別



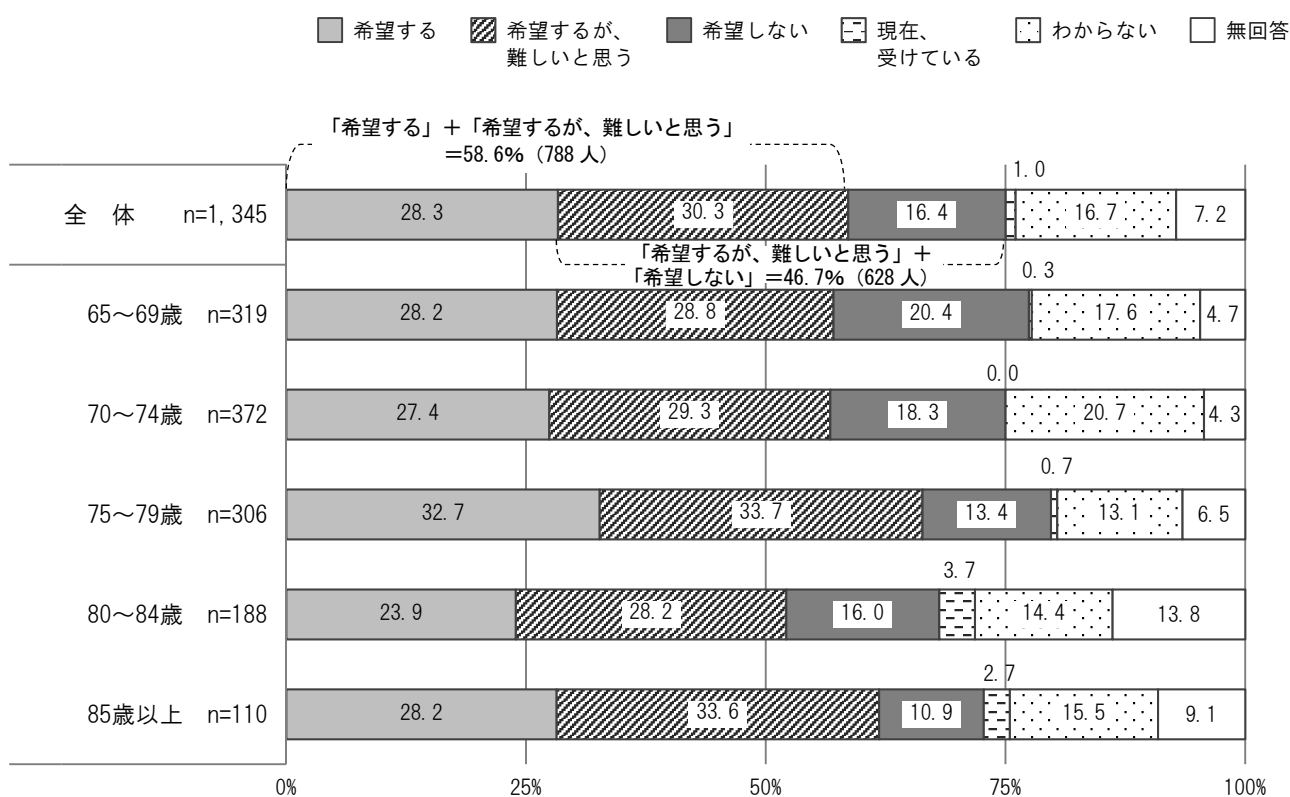
10 在宅療養について

問 35 あなたが病気やけがで長期の療養が必要になり、通院が困難になった場合、自宅で療養することを望みますか。(近いもの1つに○)

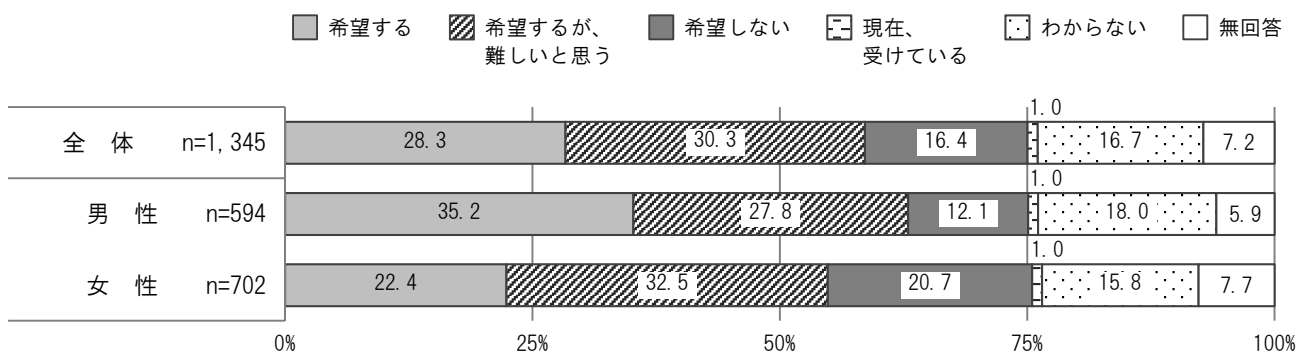
▶在宅療養について「希望する」「希望するが、難しいと思う」を合わせると58.6%

- ・年齢別にみると、「希望する」は『75～79歳』が32.7%、「希望するが、難しいと思う」も『75～79歳』が33.7%で高くなっている。[図表3-66]
- ・性別でみると、「希望する」は男性が35.2%、女性が22.4%、「希望するが、難しいと思う」は女性が32.5%、男性が27.8%となっている。[図表3-67]

図表3-66 在宅療養の意向／年齢別



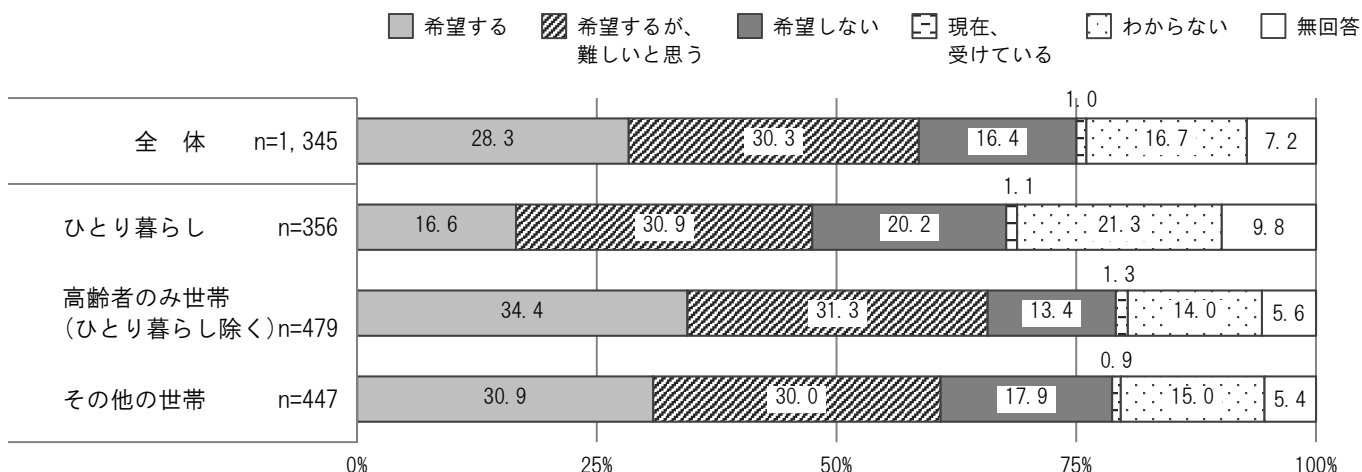
図表3-67 在宅療養の意向／性別



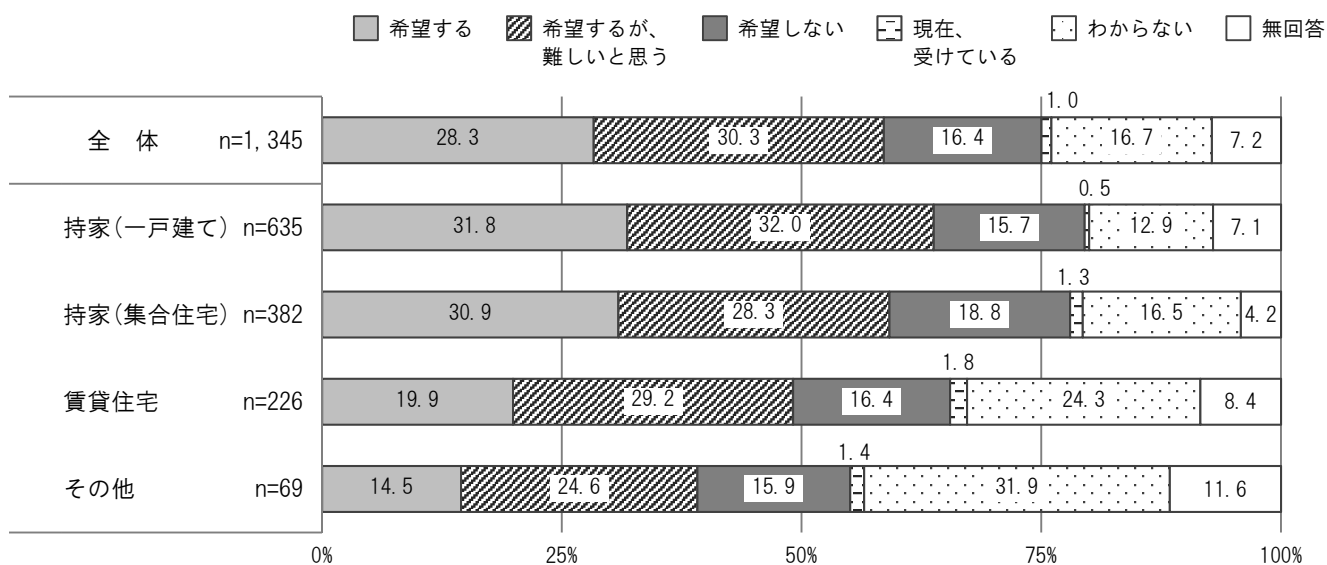
第3章 一般高齢者調査の結果

- ・家族構成別にみると、「希望する」は『高齢者のみ世帯（ひとり暮らし除く）』が 34.4%、「希望するが、難しいと思う」も『高齢者のみ世帯（ひとり暮らし除く）』が 31.3%となっている。[図表 3-68]
- ・住まいの形態別にみると、「希望する」は『持ち家（一戸建て）』が 31.8%、『持ち家（集合住宅）』が 30.9%、「希望するが、難しいと思う」は『持ち家（一戸建て）』が 32.0%、『賃貸住宅』が 29.2%となっている。[図表 3-69]

図表 3-68 在宅療養の意向／家族構成別



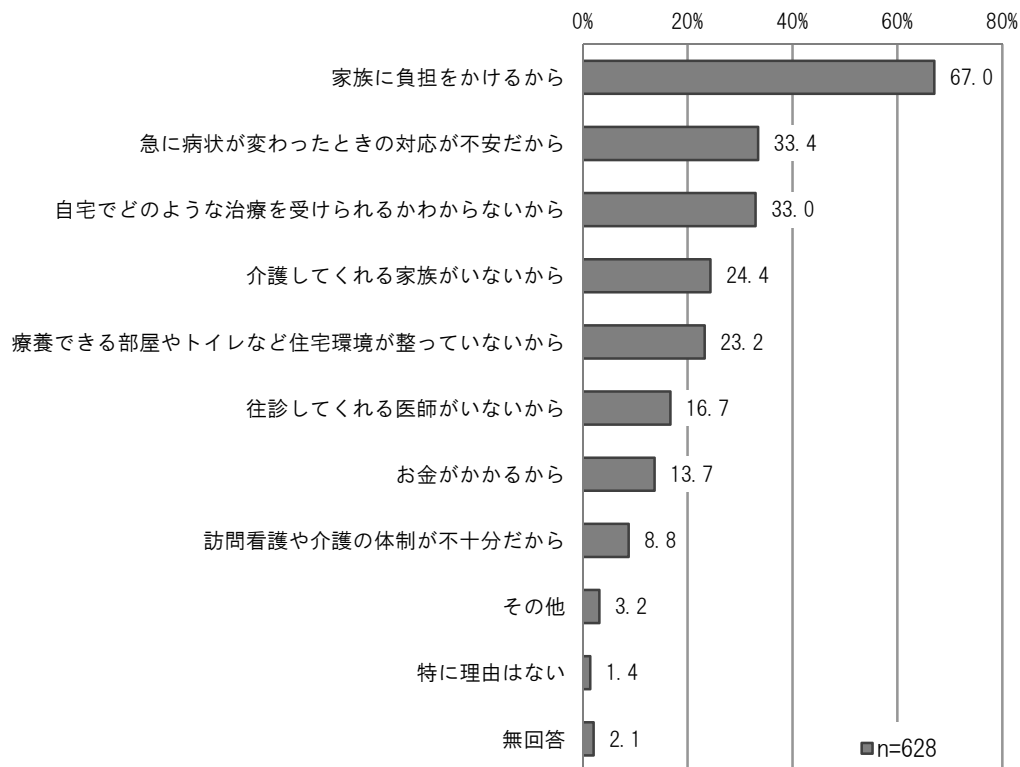
図表 3-69 在宅療養の意向／住まいの形態別



問 35-1 「希望するが、難しいと思う」「希望しない」に○をした方におうかがいします。自宅での療養を希望しない、または難しいと思うのは、なぜですか。(主なもの3つまでに○)

▶在宅療養について「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した 628 人の理由は、「家族に負担をかけるから」が 67.0%、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が 33.4%

図表 3-70 在宅療養が難しい、希望しない理由（複数回答）

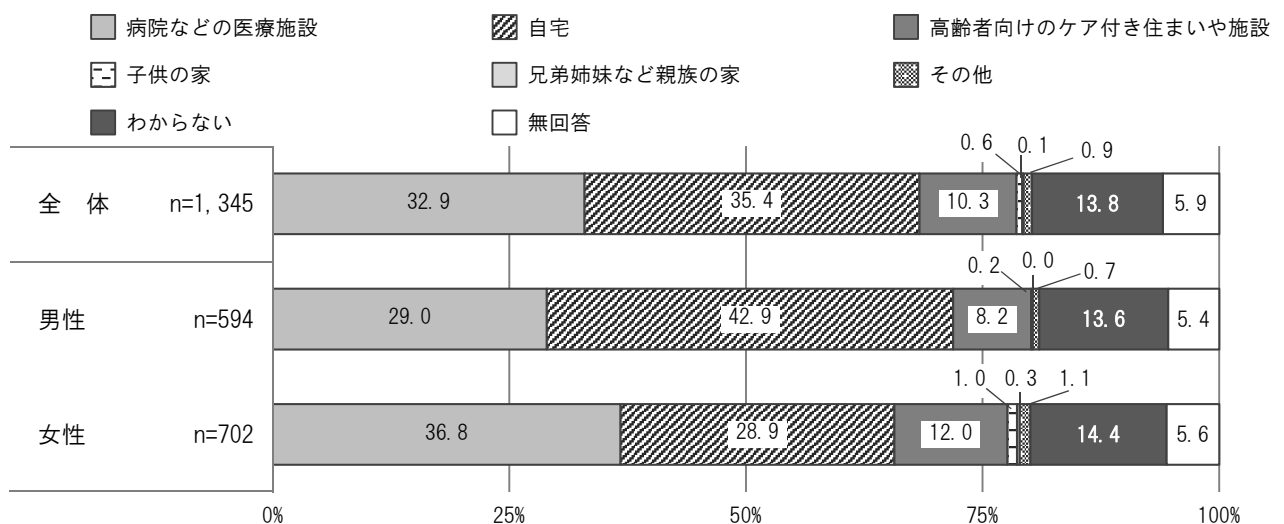


問 36 あなたが病気などで人生の最期を迎えるときは、どこで過ごしたいと思いますか。(1つに○)

▶ 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所は、「自宅」が35.4%、「病院などの医療施設」は32.9%

- ・性別でみると、男性は「自宅」が42.9%、女性は「病院などの医療施設」が36.8%で最も高い。[図表3-71]
- ・年齢別にみると、「自宅」は『75～79歳』が37.9%、「病院などの医療施設」は『80～84歳』が38.3%で高くなっている。[図表3-72]

図表3-71 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所／性別



図表3-72 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所／年齢別

単位：%

項目	回答者数(人)	病院などの医療施設	自宅	高齢者向けのケア付き 住まいや施設	子供の家	兄弟姉妹など親族の家	その他	わからない	無回答	
全体	1,345	32.9	35.4	10.3	0.6	0.1	0.9	13.8	5.9	
年齢	65～69歳	319	29.8	35.4	12.5	-	-	1.3	16.6	4.4
	70～74歳	372	32.0	34.4	10.8	0.5	0.3	1.3	16.9	3.8
	75～79歳	306	33.3	37.9	9.5	0.7	0.3	0.7	11.1	6.5
	80～84歳	188	38.3	33.5	10.6	0.5	-	-	10.1	6.9
	85歳以上	110	36.4	36.4	3.6	2.7	-	0.9	10.9	9.1

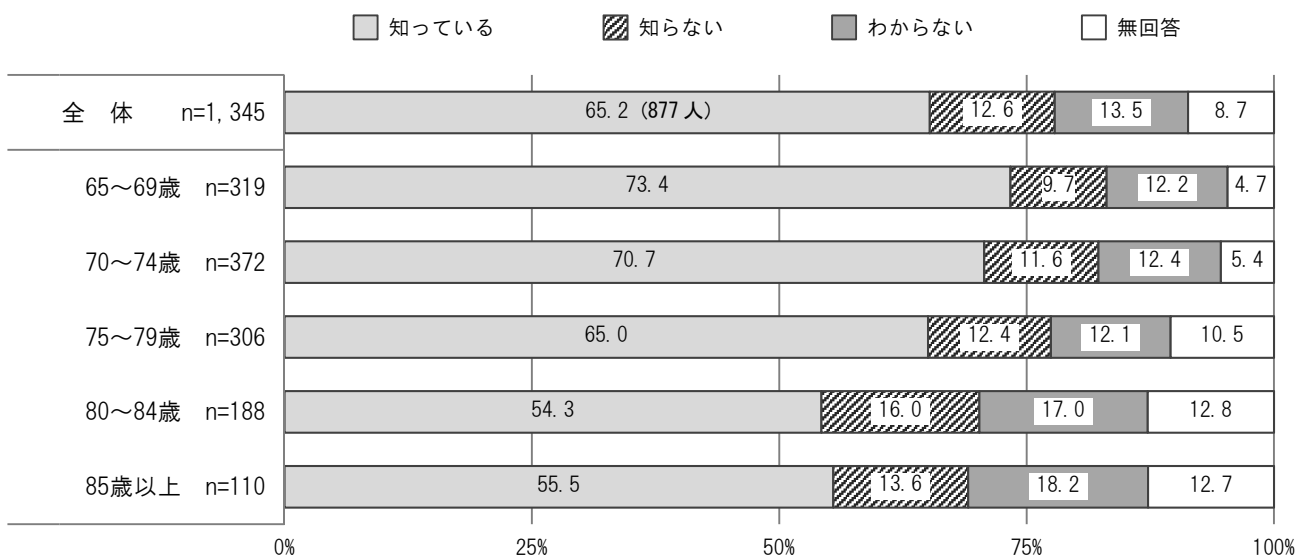
11 介護保険制度について

問 37 介護保険制度は、社会全体で介護の負担を支え合うことを目指し、40 歳以上の方が保険料を出し合って、介護を必要とする方がサービスを利用できるしくみになっています。あなたは、介護保険制度のしくみをご存知ですか。（1つに○）

▶介護保険制度のしくみを「知っている」は 65.2%

・年齢別にみると、「知っている」は『65～69 歳』が 73.4%、「知らない」は『80～84 歳』が 16.0%となっている。[図表 3-73]

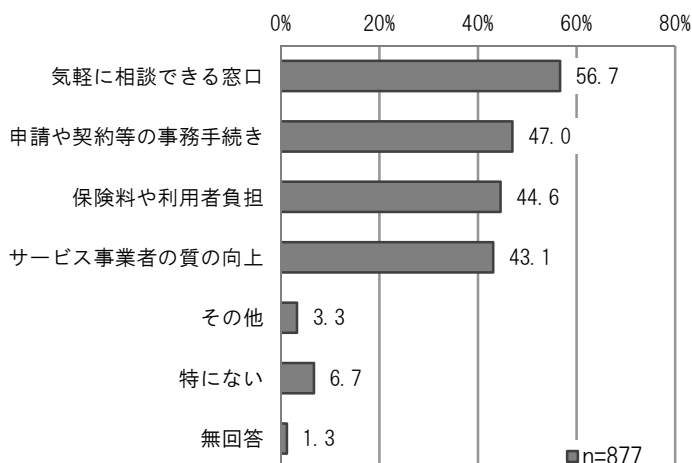
図表 3-73 介護保険制度のしくみの認知度／年齢別



問 37-1 「知っている」に○をした方におうかがいします。より良い介護保険制度にしていくために、どのようなことを改善してほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

▶介護保険制度を知っていると回答した 877 人のうち、改善してほしいことは「気軽に相談できる窓口」が 56.7%、「申請や契約等の事務手続き」が 47.0%

図表 3-74 介護保険制度で改善してほしいこと（複数回答）

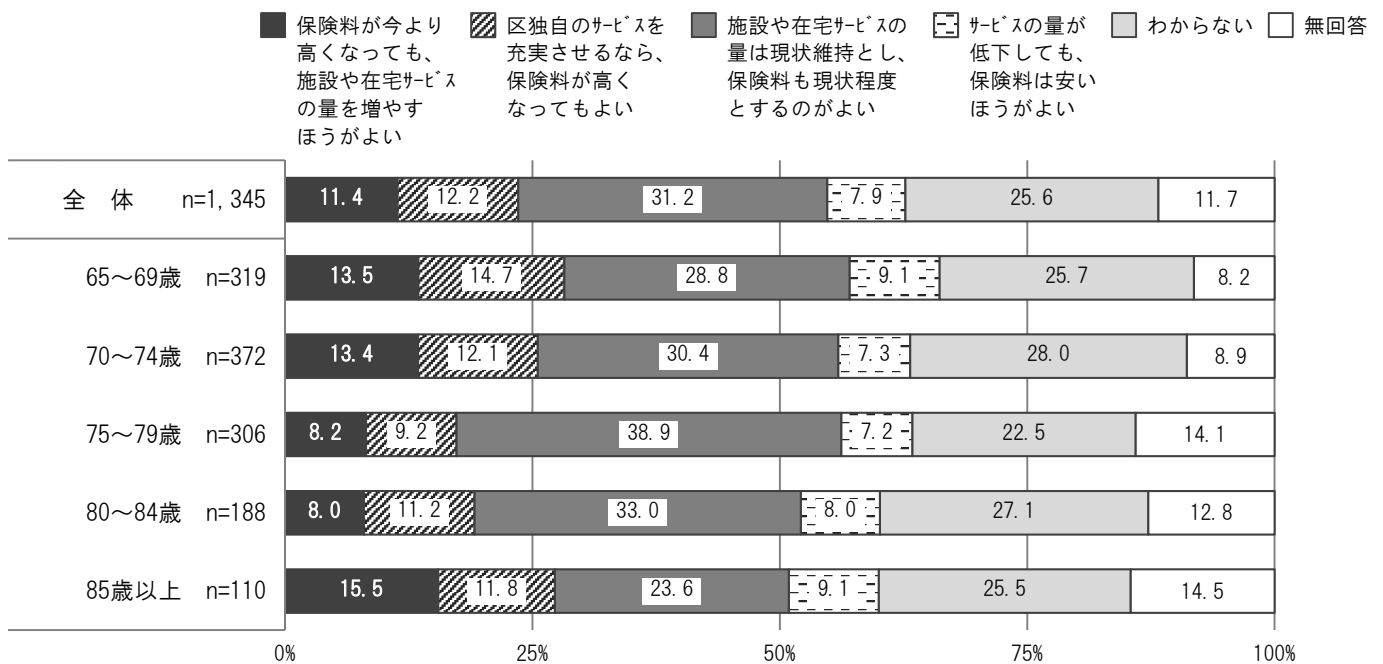


問 38 介護保険料は、区全体の介護サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに区が決定しています。介護保険料とサービスについて、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（近いもの1つに○）

▶介護保険料とサービスについては、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が31.2%

・年齢別にみると、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」は『75～79歳』が38.9%、『80～84歳』が33.0%となっている。[図表3-75]

図表 3-75 介護保険料とサービスについて／年齢別

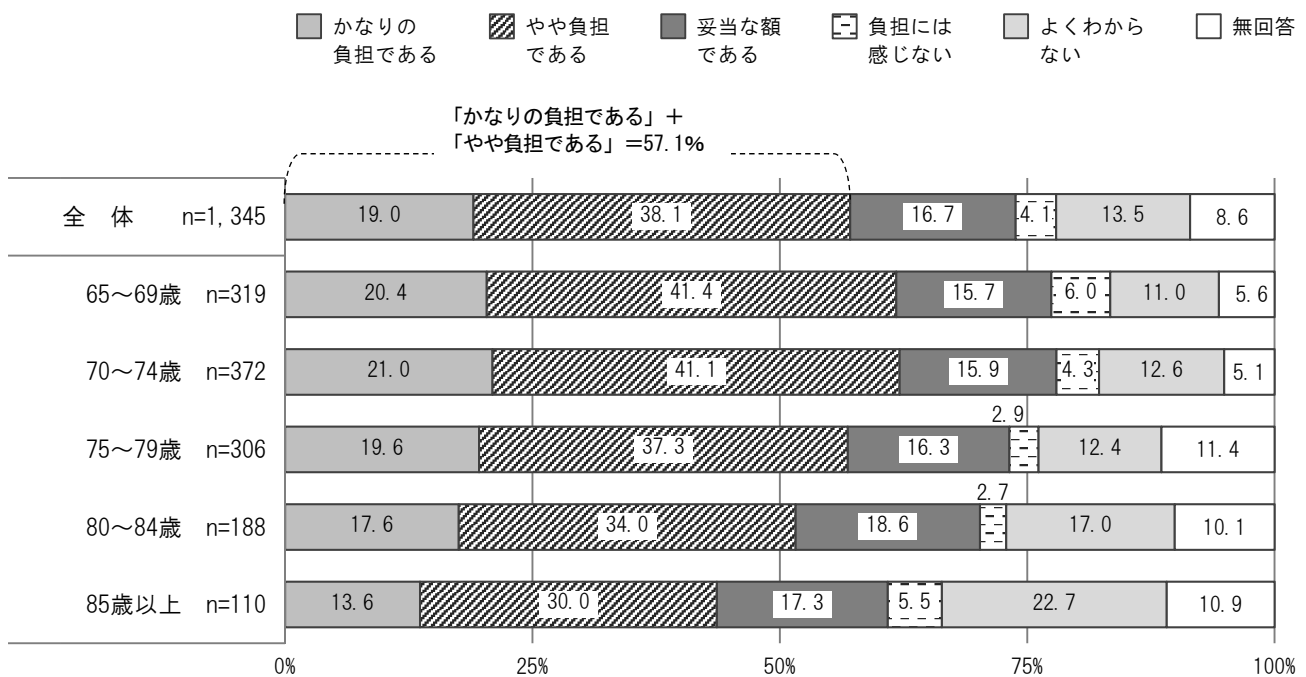


問 39 あなたは、介護保険料の額をどのように感じていますか。（1つに○）

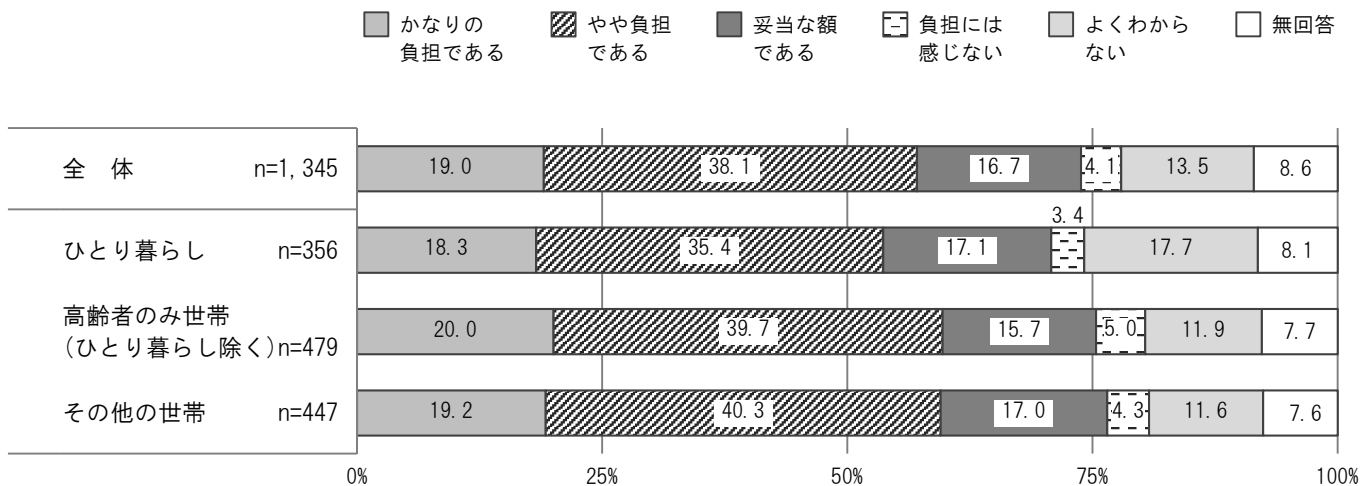
▶介護保険料の額について「かなりの負担である」「やや負担である」を合わせると 57.1%、「妥当な額である」が 16.7%、「負担には感じない」が 4.1%

- ・年齢別にみると、「やや負担である」は『65～69歳』が 41.4%、『70～74歳』が 41.1%となっている。[図表 3-76]
- ・家族構成別にみると、「やや負担である」は、『その他の世帯』が 40.3%となっている。[図表 3-77]

図表 3-76 介護保険料の額について／年齢別



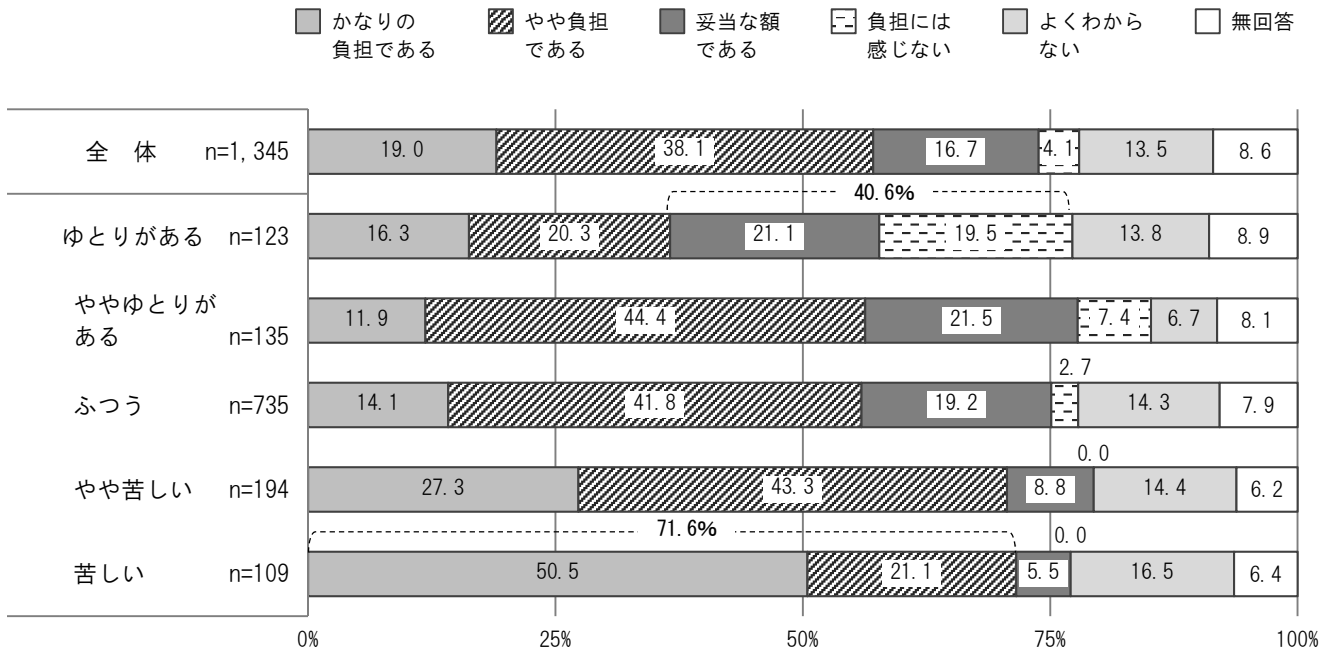
図表 3-77 介護保険料の額について／家族構成別



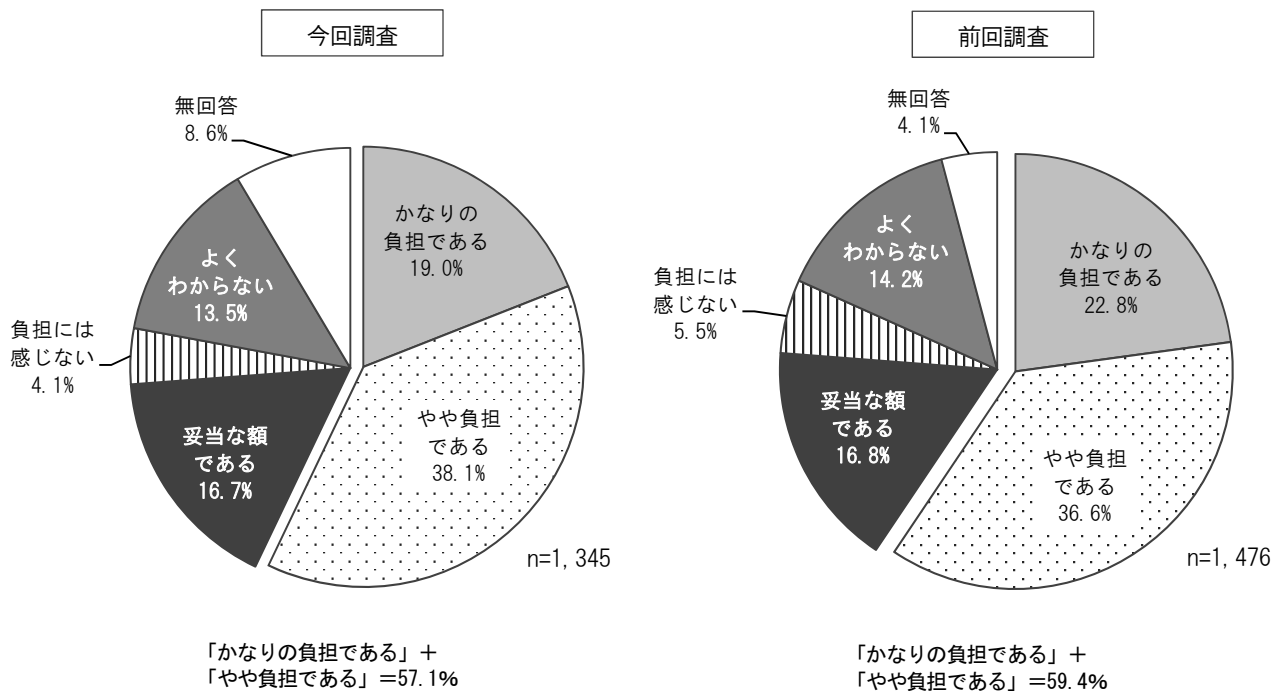
第3章 一般高齢者調査の結果

- ・暮らし向き別にみると、『ゆとりがある』は「妥当な額である」「負担に感じない」の計が40.6%、『苦しい』は「かなりの負担である」「やや負担である」の計が71.6%となっている。[図表 3-78]
- ・経年比較では、「かなりの負担である」「やや負担である」を合わせると57.1%で、前回調査より2.3ポイント低くなっている。[図表 3-79]

図表 3-78 介護保険料の額について／暮らし向き別



図表 3-79 介護保険料の額について／経年比較

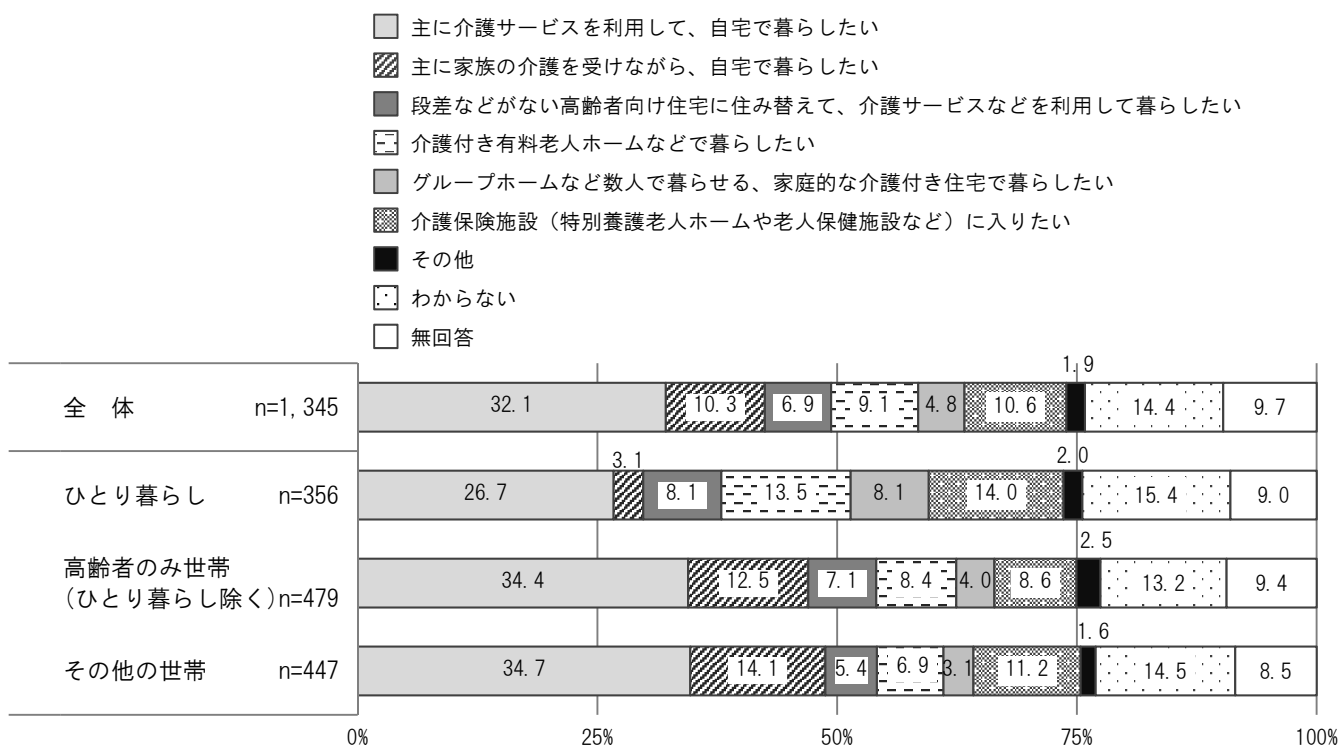


問 40 今後、あなたに介護が必要となった場合、どのような暮らし方を希望しますか。
(近いもの1つに○)

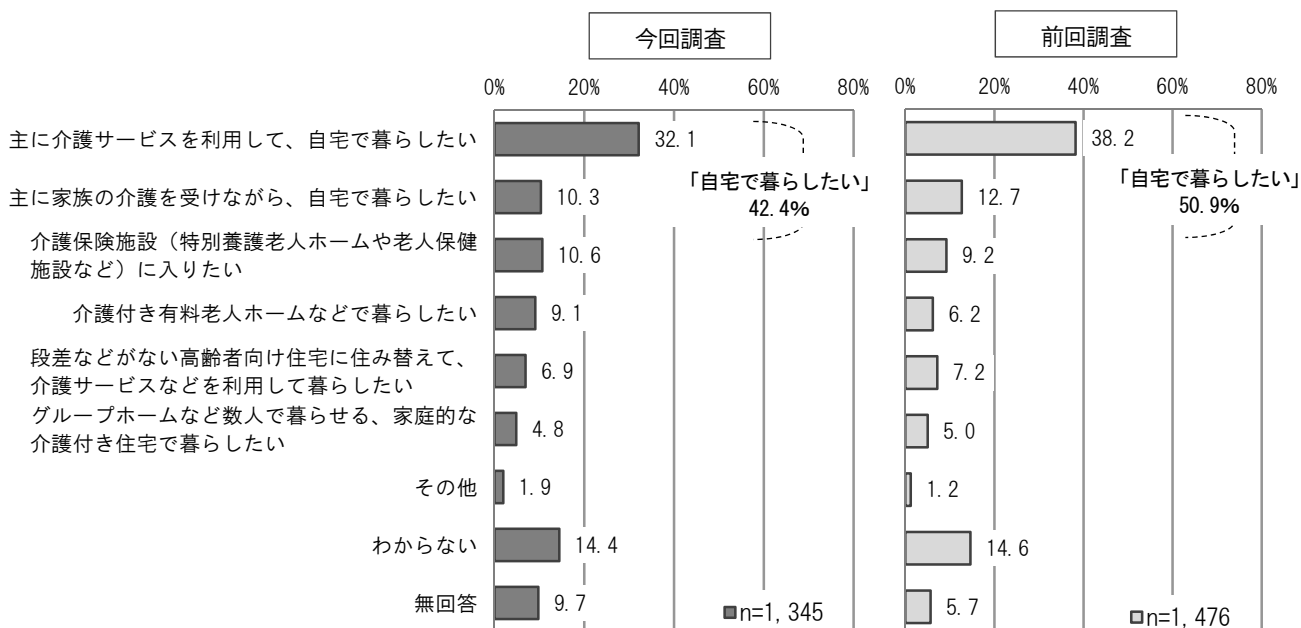
▶ 今後、介護が必要となった場合、希望する暮らし方は、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が32.1%

・経年比較では、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」を合わせると42.4%で、前回調査より8.5ポイント低くなっている。[図表3-81]

図表 3-80 今後、要介護になった場合の暮らし方／家族構成別



図表 3-81 今後、要介護になった場合の暮らし方／経年比較

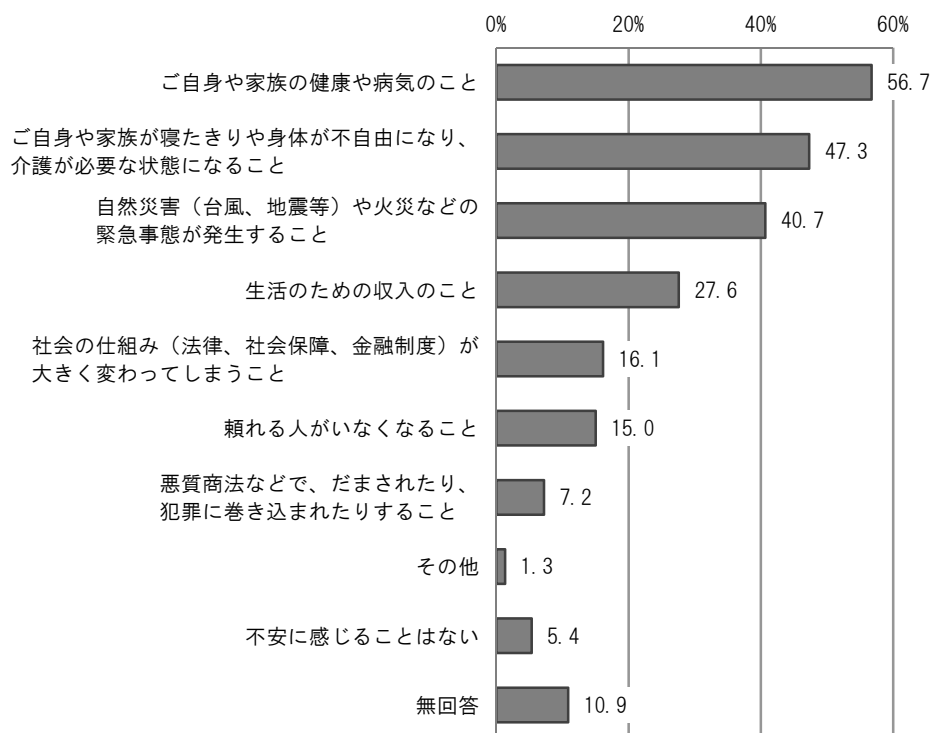


12 相談先について

問 41 日頃の生活で、不安を感じる点はどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

▶日頃の生活で、不安を感じる点は、「ご自身や家族の健康や病気のこと」が 56.7%、
「ご自身や家族が寝たきりや身体が不自由になり、介護が必要な状態になること」が
47.3%

図表 3-82 日頃の生活で、不安を感じる点（複数回答）

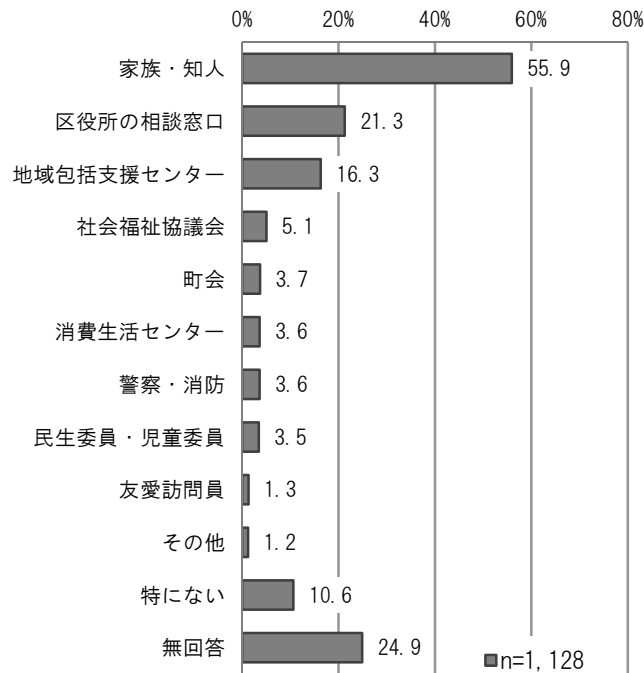


■n=1,345

問 41-1 「ご自身や家族の健康や病気のこと」から「その他」に○をした方におうかがいします。生活の不安などについての相談先はどちらですか。（あてはまるものすべてに○）

▶生活の不安などについての相談先は、「家族・知人」が55.9%、「区役所の相談窓口」が21.3%

図表 3-83 生活の不安などについての相談先（複数回答）



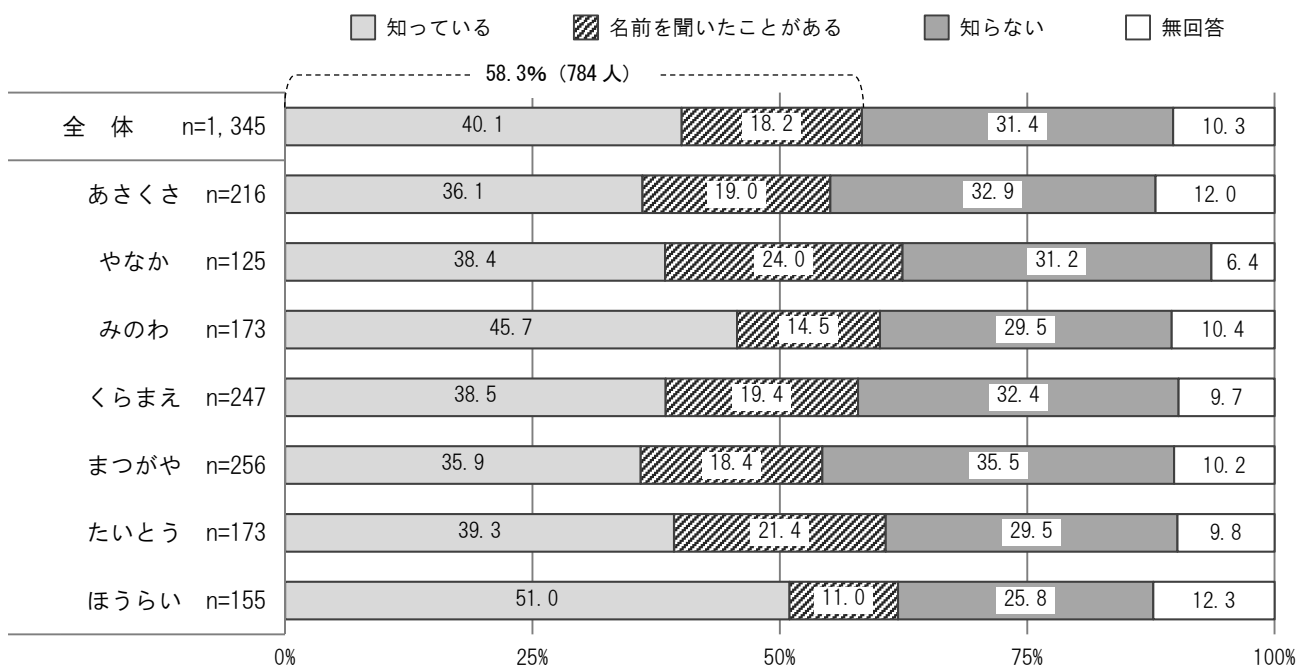
※消費生活センター…契約に関するトラブルや、商品・サービスに関する相談について、専門の相談員が皆さんと一緒に考え、解決のお手伝いをする場所。
 ※友愛訪問員…区内にお住まいで希望するひとり暮らし等の高齢者に対し、訪問や電話をして話し相手や安否の確認をする。

問 42 区内7か所にある地域包括支援センター（あさくさ、やなか、みのわ、まつがや、くらまえ、たいとう、ほうらい）では、高齢者の方の相談や介護サービスの手続き、調整を行っています。
あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。（1つに○）

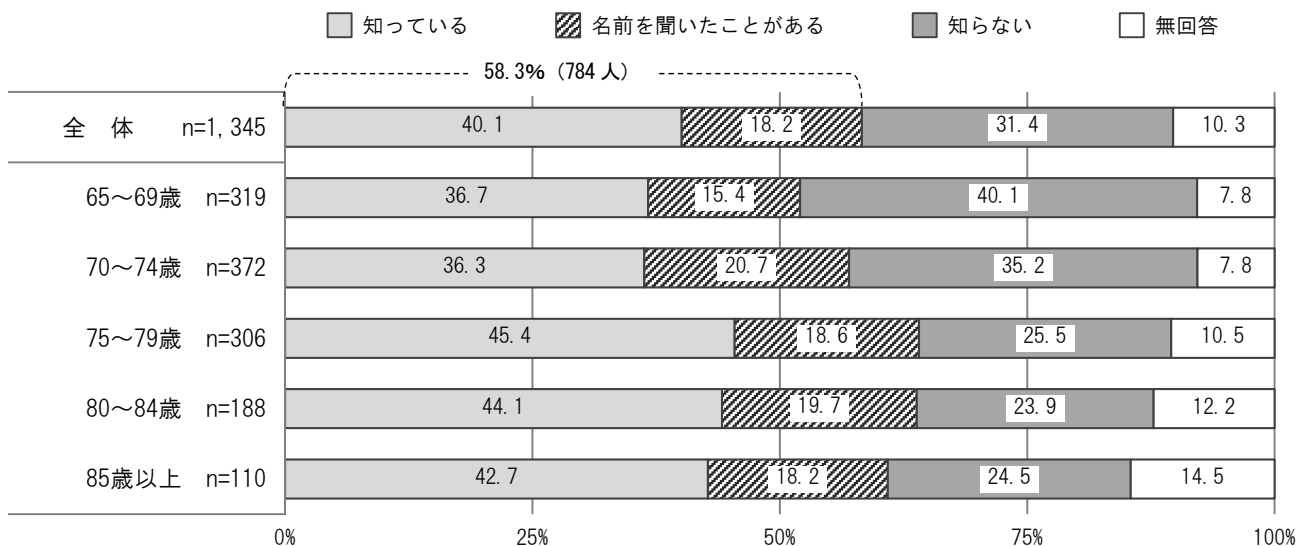
▶地域包括支援センターの認知度は、「知っている」が40.1%、包括別は「ほうらい」が51.0%

・年齢別にみると、「知っている」は『75～79歳』が45.4%、「知らない」は『65～69歳』が40.1%で高くなっている。[図表3-85]

図表3-84 地域包括支援センターの認知度／包括別



図表3-85 地域包括支援センターの認知度／年齢別

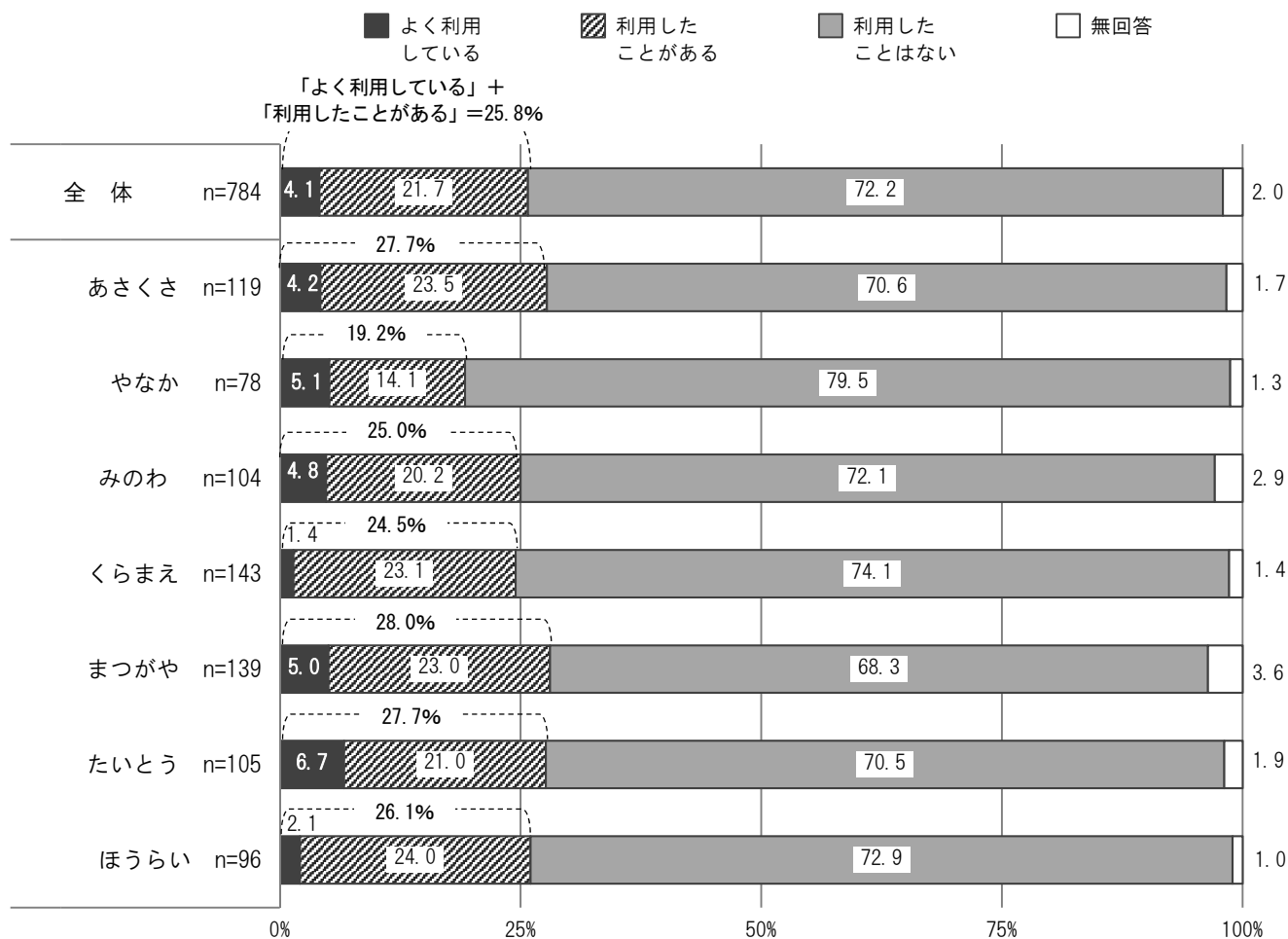


問 42-1 「知っている」「名前を聞いたことがある」に○をした方におうかがいします。あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。
(1つに○)

▶ 「知っている」「名前を聞いたことがある」と回答した 784 人のうち、地域包括支援センターの利用状況は「利用したことはない」が 72.2%

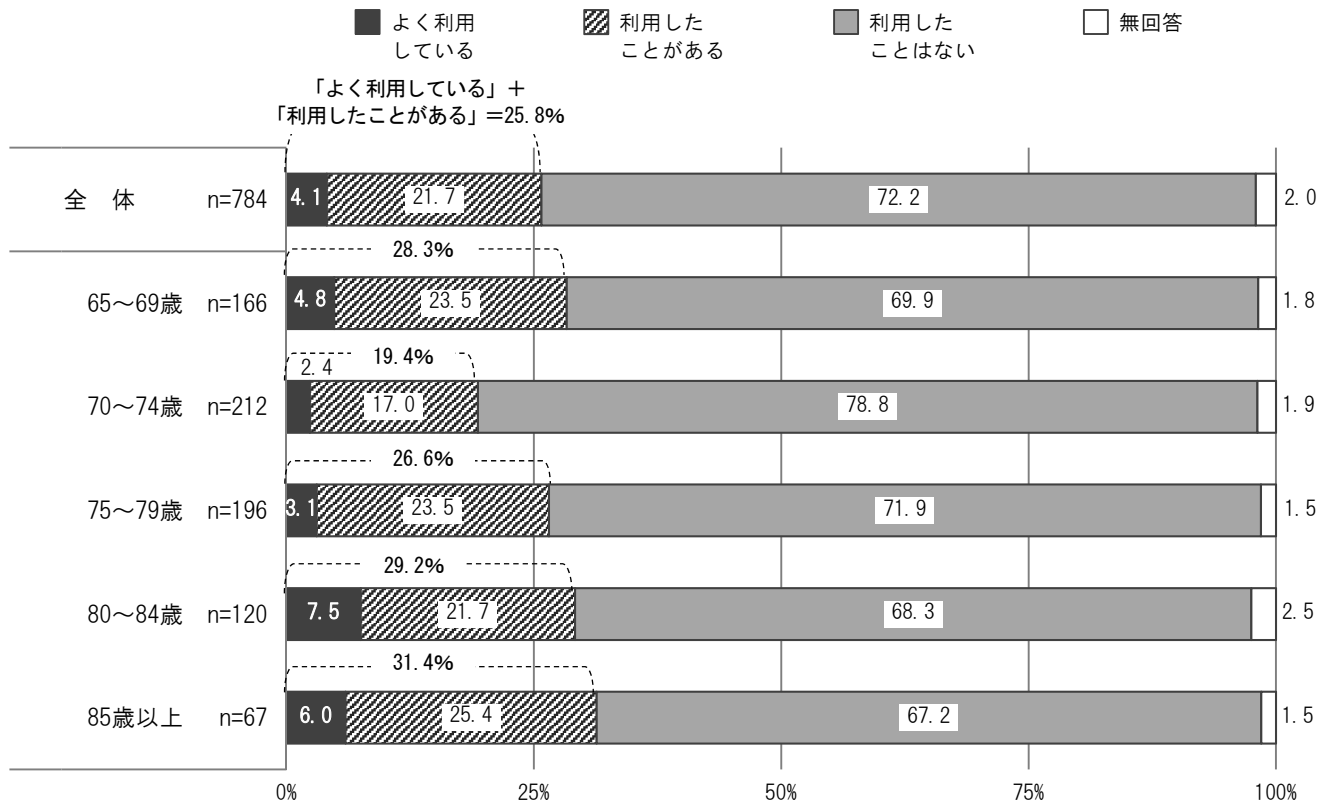
・包括別にみると、「よく利用している」「利用したことがある」を合わせると、『まつがや』が 28.0%、『あさくさ』と『たいとう』がともに 27.7%となっている。[図表 3-86]

図表 3-86 地域包括支援センターの利用状況／包括別



・年齢別にみると、「よく利用している」「利用したことがある」を合わせると、『85歳以上』が31.4%、『80～84歳』が29.2%となっている。[図表 3-87]

図表 3-87 地域包括支援センターの利用状況／年齢別



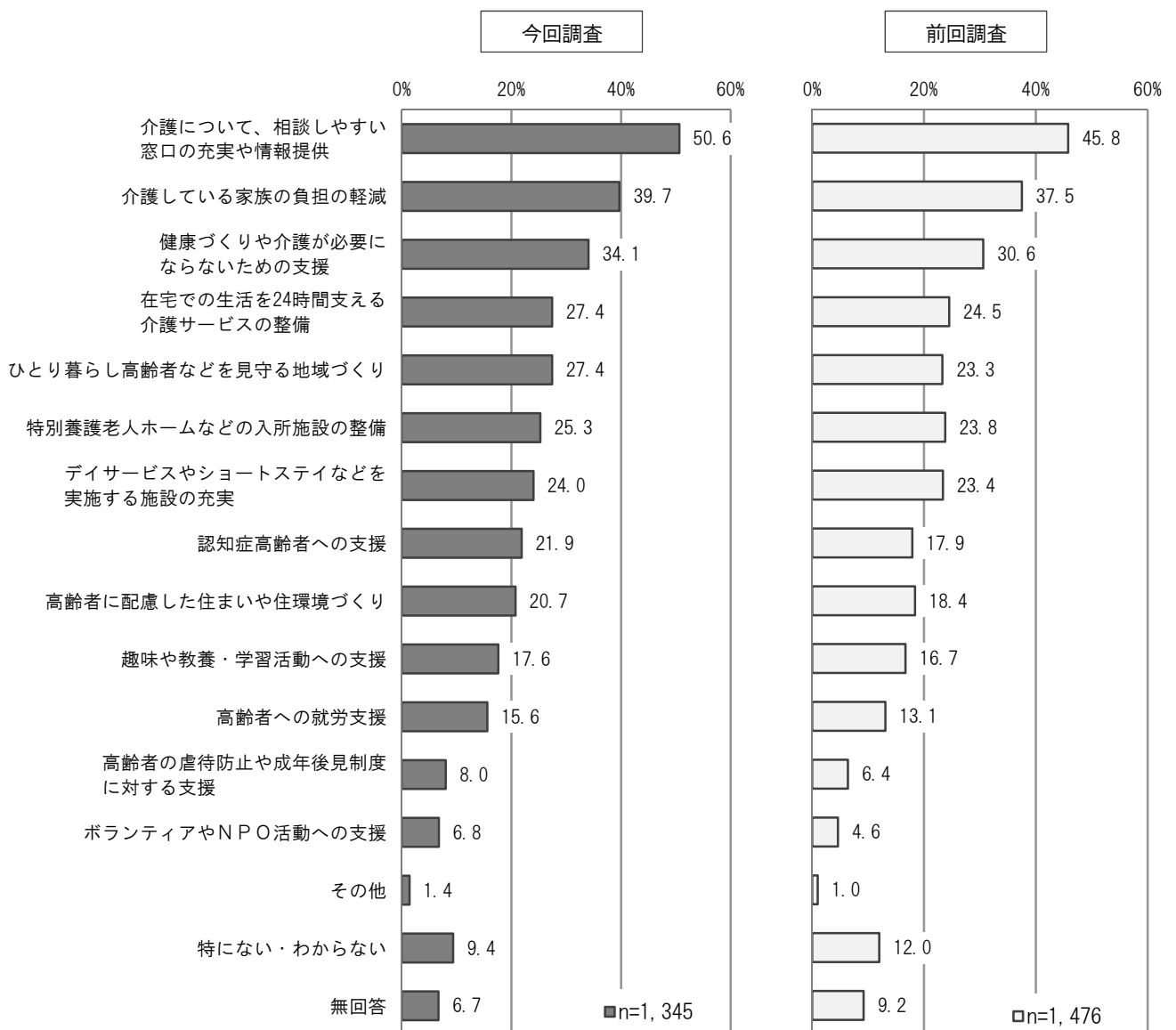
13 区の高齢者福祉施策について

問 43 これからの高齢者福祉施策として、区に力を入れてもらいたいことは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

▶ 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」が50.6%

・経年比較では、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」「介護している家族の負担の軽減」「健康づくりや介護が必要にならないための支援」の上位3項目の変化はみられない。前回調査から「ひとり暮らし高齢者などを見守る地域づくり」が5位に上昇している。[図表 3-88]

図表 3-88 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策（複数回答）／経年比較



問 44 介護予防、介護保険制度、高齢者向けサービスなどに関して、意見等がありましたら、下の欄にご記入ください。

区への意見等は236件で、主な内容は以下のとおりである。

■ 介護保険制度について

- ・介護保険料の負担が大きい。
- ・介護申請手続きに時間がかかる。
- ・限られた予算の中で適正な審査と公平な対応を期待する。
- ・利用なく一生を終えた高齢者には年齢別に葬儀費用の支給など、公平なサービスをお願いしたい。
- ・介護制度が充実しすぎると人はそれに頼ってしまうような気がする。
- ・介護職の報酬を引き上げて介護の質を向上させてほしい。
- ・介護現場で仕事をしている方の処遇改善を願う。
- ・介護職の人材確保のための施策を今のうちにつくってほしい。

■ 高齢者福祉サービス・介護保険サービスについて

- ・介護保険制度や高齢者向けサービスについてわかりやすい資料がほしい。
- ・介護保険について相談しやすい窓口をお願いしたい。
- ・地域包括支援センターの活動をもっと広く住民に呼びかけてほしい。
- ・老人福祉センターで新しい趣味を見つけたいと思ったが、楽しそうなものがなかった。書道・絵画・手芸・ギターなどの教室をつくってほしい。
- ・日常の家事以外を行ってくれる単発のサービスがあるとよい。換気扇・高い場所の清掃、押し入れや物置のかたづけなど。
- ・サービスが実行されるまでの手続きや時間をもう少し短縮できないか。
- ・介護施設と保育園などを一緒にして、子どもの声が聞こえるようにしてほしい。
- ・単身高齢者が増えるので、身の回りや日常の連絡・安否確認・相談を受け身ではなく積極的に行ってほしい。
- ・特別養護老人ホームを整備してほしい。

■ 健康づくり・介護予防について

- ・自分の力で生活する習慣、体力維持のアドバイス等について発信してほしい。
- ・高齢者向けの健康づくりの場を増やしてほしい。
- ・予防は自己負担でよいのではないか。
- ・一人暮らしでもサービスを受けて自宅で死を迎えることが可能なのか。
- ・まずは自立した生活ができるよう、健康づくりを第一に考え実行していく。

■ 介護者の支援について

- ・介護者の心の支援窓口の充実と普及を。
- ・介護する家族を支援する制度をもっと充実してほしい。

■ 住まい・就労について

- ・高齢者が安心して住める低家賃の住居を増やしてほしい。
- ・「空き家」になるので自分が死んだ後の家のことが心配。
- ・高齢者のための住宅改修工事費の個人負担軽減。
- ・働ける場所があれば働きたい。
- ・交通安全の見守りや公園清掃など、高齢者に積極的に参加を促してほしい（有料で）。

■ その他

- ・家の者がショートステイのおかげで感謝の気持ちでいっぱい。
- ・台東区に転入し「広報たいとう」を見たところ、自分たちも参加できる高齢者のためのサービスや講座が幅広く掲載されており、幸福度が上がった。